夕刊
九月二十五日
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓五拾錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用 三二〇五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 永越内之介

保定、滄州の占領により 北支遂に支ふる力なし

【天津廿五日發國通】廿四日夕刻わが長野部隊の手によつて占領された津浦線の要地滄州は同日午前わが軍の手に落城した平漢線の保定と東西相對峙して北支二大門柱をなしてゐる、この二大門柱がかくの如く相次いで倒潰してしまつたのでこれに連なる堺とも云ふべき津浦、平漢兩線沿線の大小都市は殆んど半壊の狀態に置かれ、さらに北支を支へる第二の大黑柱とも云ふべき平漢線の石家莊、津浦線の徳州にも大小無數の龜裂が入り最早北支を支へることは望み難く斯くてわが軍の滄州攻略の成功は全北支における支那軍の運命を制する劃期的戰果であつたと云へる

潰亂の敵を爆擊

【天津廿五日發國通】わが○○機は廿四日午後又も滄州上空に飛び友軍地上部隊の滄州縣城に肉薄するに掩護を行ひ裏手にまはり滄州縣城南門より道路上を南に向つて蜘蛛の子を散らすが如く潰亂する敵に爆擊を敢行した、敵は雪崩れを打つて目下大潰走中である、時に午前零時廿五分

滄州の敗殘兵徳州、鹽山へ潰走

【天津廿五日發國通】○○機は廿四日午後滄州縣城南門より道路上を南に向つて蜘蛛の子を散すが如く潰亂する敵に爆擊を敢行し殲滅的打擊を與へたが、わが軍の猛擊に敵軍は全く戰意を喪失し一部は徳州へ、一部は鹽山に向け算を亂して遁走中

二十五日朝迄の戰況

平綏線方面　二十四日午前九時平地泉を陷れた岩根、千田、板倉、一ノ宮各部隊及び内蒙古軍は堂々入城して綏遠軍五百名を捕虜として、目下潰走兵追擊中

平漢線方面　保定は二十四日午後一時半遂に陷落した、敵が難攻不落を誇つた堅城も皇軍猛攻の前には脆くも潰え敵は死傷一萬以上を出して潰走中であるが、保定を去る一里の南方にはわが還山、石黒、森田、坂西の各部隊が控へてゐるから敵は恐らく一兵もあまさず潰滅し盡されるものと思はれる

津浦線方面　二十四日午後六時二十分滄州縣城も遂に陷ちわが長野部隊は堂々入城した

上海方面　全線とも皇軍は進出又進出今や羅店鎭、劉行鎭を結ぶ大道の兩側には全く敵影なく軍工路は完全にわが手に歸した、なほ血迷つた支那は公海にまで水雷を浮流せしめてゐることが廿四日長崎丸によつて發見された

保定の戰で敵の死者一萬
我が軍の損害輕微

【天津廿四日發國通】今回の保定大會戰においてわれの敵に與へた損害は詳細なほ不明なるも敵の死傷一萬を下らざるものゝ如く、わが軍の損害は輕微にしてその十分の一にも達しない

平地泉に於る 敵遺棄死體二千

【平地泉廿四日發國通】平地泉攻略の主力となつて奮戰した綏遠軍の命と恃む本陣地を潰滅して武勳を樹てた岩根部隊は廿四日午前二時廿分から行動を起し敵の本據陣地に直前達したが、敵は深さ五米、幅六米の頑丈な外壕を楯に極力抵抗せるため、決死隊を組織して歩兵自ら勇敢なる爆破作業を敢行、數個の突擊路を開いてそこから敵陣に突入し、手榴彈、銃劍をとつて猛烈果敢な肉彈戰を演じ敵陣地の骨格たるベトン製掩蔽壕を破壞山砲陣二個所、迫擊砲陣十二個所を潰滅し敵二千を潰滅、多數の鹵獲品を得て陣地内における歩兵戰鬪の極致を展開遂に午前六時敵の本據を擊滅雪崩をうつて平地泉城内に突入殘敵を掃蕩した、一方廿三日夜來平地泉、八蘇木間鐵道破壞の使命をおびて平地泉の西南方白要溝より敵陣に進入した大關部隊は、廿三日午後十時平地泉より三キロの目的地點に達し完全に鐵路を爆破して敵の退路を斷ち、引續き平地泉の西側から敵の虚を衝き今日まで猛威を逞うしてゐた敵の裝甲車十輛を鹵獲したなほ商都より南下、廿四日午前四時平地泉の北方に迫つた李守信司令官指揮の蒙古軍は東北高地に網を張つて平地泉から逃走せんとする敵を一兵も殘さず潰滅、午前九時半すぎ我軍と相前後して入城した同戰鬪における敵の遺棄死體二千を下らず、わが方の損害戰死三、重傷十七、輕傷卅六である

保定勝利の原因

【天津廿四日發國通】永淸、固安、涿州の戰に敗れて以來敵はわが怒濤の如き急迫に火に煽られた蛾軍よろしく敗走すること一週間今またその根據地と恃む保定をもろくも放棄して一路正定方面に算を亂して潰走し去つたが、今次の保定會戰における大敗の原因は既に早くから永定河の戰鬪に胚胎してゐたといはれる、即ち保定は東に西淀の大湖を控へ、西に山西省を縱走する大行山脈の峻嶮あり、前面には瀑河、漕河など西淀に注ぐ河川を横へて河北平野中でも最も進擊に惡く防禦に良い天然の堅壘をなしてゐるのであるから敵は當然この一戰によつて必死の大決戰を挑んで來るものとみられてゐた、而して永定河、拒馬河、琉璃河などの各河川では敵は專ら皇軍の兵力を減殺するための消耗戰を展開、しかる後急速に後退して保定を中心に陣容を整備、堂々の陣を張るべきであつたにも拘らず戰略を誤まれる敵は永定河の線において無益の抵抗に多數の兵力を損じまた涿州平野においても袋の鼠となつて算を亂して敗走するの愚を繰返し、さらに天與の好防禦陣地保定城をも何等生かし得ず、哀れわづか一日にして落城の憂目をみたのであつて、敵戰術の拙劣と相俟つてわが部隊の神速疾風の如き猛追ぶりがさらに敵の敗因に輪をかけたことは明白である、保定は人口八萬餘り、河北省の重要都市、保定軍官學校の所在地で、この軍官學校出身の中堅將校多數が敵第一線部隊に參加してゐた、保定落城につぎ山西省の楡次、太原などへ通ずる交通の要所たる正定、石家莊も累卵の危きにあり、支那側に與へた損失は軍事的にも政治的にも莫大なもので保定の陷落こそ今次事變における劃期的戰果といはねばならぬ

平津地方識者間に 新政權要望熾烈
蔣政權への關心薄ぐ

【天津廿四日發國通】今次の事變により北支那に發生すべき新政權の擡頭如何の問題は今や列國注視の焦點となつてゐるが、最近るにおけるわが軍の北支戰線における繼續的進擊と南方上海での戰況進展によつて蔣政權の瓦解も時の問題と見られるに及び、その關心度は更に一層高められつゝある、しかして現在においては目下戰爭繼續中のことゝて官民一致のあらゆる活動はわが軍事行動の援護促進に集中され、戰局の擴大進展に伴ひ後方地帶治安ならびに復興工作に忙殺されてゐるので、各關係當局とも戰局終局の事前に新政權に對する言明は一切これを避けてゐるが、事變勃發以來既に二ケ月兵火を經驗せる平津地方一般民衆の間には早くも南京政府の長期交戰的態度が結局自繩自縛の自滅的破局以外の何ものでもないことを達觀し、この際一日も早く北支に新政權の誕生により平和の恢復を要望する聲が擡頭しつゝあることは頗る刮目すべき現象である、しかしてこれら現地における新政權の待望の空氣は支那政客の間においてよりは寧ろ時局の進展に敏感なる經濟界の少壯識者の間に多いので、かゝる現狀より推測するに新政權の發生の時期も案外早いのではないかといはれる、且つこれら平津地方インテリ層中心となつて擡頭した自治政府樹立運動の動向は極めて重視すべきものがある

小形浮遊水雷

【上海廿四日發國通】艦隊報道班廿四日午後二時發表＝長崎丸は廿三日午前九時四十五分北緯三十一度二十七分、東經百二十四度十二分（崇明島東端より百二十浬東）において小形浮遊水雷らしきものを認めたり、同方面航行一般船舶は注意を要するものと認める

羅店鎭南方の敵に 我軍攻擊を開始
陸軍機も相呼應して爆擊

【上海廿四日發國通】羅店鎭にある○○○、○○兩部隊主力は、二十四日午後一時陸軍航空機○機の掩護爆擊のもとに羅店鎭の敵に對し攻擊を開始した

【上海廿四日發國通】二十四日午後一時陸軍航空隊林原大尉指揮の陸軍機○機は、密雲を衝いて地上部隊と相呼應し羅店鎭の敵大部隊に猛烈なる爆擊を加へた

淺間部隊夜襲 軍工路を完全に占領

【楊家宅廿四日發國通】連續大夜襲を行ひ堅固な敵陣地を次から次と奪取しつゝある總攻擊第三日の事、淺間部隊は二十三日午後九時西馬宅西方幅一米の荻涇クリークの線を確保すべく壯烈なる夜襲を敢行、淺間部隊長は和田○隊、中内○隊、長井○隊を率ゐる太田○兵隊の決死的敵前架橋の橋を踏んでクリーク對岸に十數箇の機關銃を連ねる敵主力方面に向つて田中少尉、橋本伍長以下四十名は彈丸の如く銃劍をひらめかして敵陣に突入、敵の亂射射擊をものともせず遂に敵前渡河に成功し續いて和田○隊の雲霞の如き將兵は敢然敵陣地に躍込み縱横無盡に敵を蹴散らし、激戰一時間の後對岸陣地を完全に占據して二十四日拂曉には早くも羅店鎭の東方約一キロの地點に進出、二十四日午後一時羅店鎭、劉行鎭を結ぶ大道兩側は全く敵の影なく軍工路は完全にわが方の有に歸した

一町四方の大白堊館を爆破

【羅店鎭廿四日發國通】羅店鎭南方の小野部隊の正面にあるコンクリート造り一町四方の大白堊館に立て籠り去る八月九日わが軍の羅店鎭入城以來約一ケ月に亘つて頑强に抵抗してゐた敵の第五十一、第五十九兩師の根據地攻擊は、廿三日午後秋季皇靈祭の佳き日を期して○○機の爆擊に始まり、かねて四十米の坑道を掘りこの日を待ちかまへてゐた山ノ内工兵隊の爆破によつてさしも頑强な敵陣地も天地を搖がす大轟音と共に一瞬にして潰滅に歸し黑煙天に沖し爆破作業は完全に奏效した、小野部隊は午後四時敵陣めがけて壯烈なる突擊に移り小野部隊長自ら一ケ月に亘る隱忍の陣太刀を携げ越智部隊と協力し劉行鎭、劉家鎭を貫く大道を占據、日の丸の大旗を道路上に飜し戰史に輝しき歩工合作攻擊の一頁を飾つた

哀願的な支那紙論調 邦人は畏敬の的
上海に於る一般狀況

【東京國通】廿四日海軍省に達したる情報によれば、上海における一般狀況は左の通りである

一、わが南京、廣東空爆により支那側は俄然狼狽してラヂオの放送振りも、各漢字紙の論調も列國に哀願して日本の干伐を一日も早く止めさせやうとする悲觀的態度に急變した、殊にわが南京空襲計畫に關する米國の態度に對しては賴みの綱の切れた思ひをもつて棄鉢的憤慨の情を示してゐる

二、虹江、楊樹浦方面はますます明朗化してをり、十七日には補助憲兵が解散され、ついで廿二日には自衞團も廢止され平常通り領事館警察および工部局警察にて治安維持を擔當することゝなつた、蘇州河以南にはコレラが既に三千名に達したが虹江、楊樹浦方面は防疫效を奏してまだ發生しない

三、蘇州河以南租界内の交通はほゞ恢復したが、なほ列國の軍隊が警備してをり、開店したダンス・ホールに對しては時々支那青年が恐喝する等人心はまだ安定するに至らない、わが海軍航空隊の目覺しい活躍以來邦人に對する外支人の態度は變化畏敬を増して來たことが感ぜられる

英國系銀行 回收紙幣發行

【上海廿四日發國通】私造流通證券の發行或は隨時に回收された民間銀行券の發行により支那幣制の紊亂が豫想されてゐる折柄イギリス系某銀行の奇怪な陰謀が暴露され當地財界にセンセーションを起してゐる、すなはち上海事變勃發後間もなく市場流通紙幣が極度に拂底を告げるやイギリス系某銀行ではひそかに豫て用意してゐた多額の自行發行紙幣を市場に流通せしめ當地金融の支配權を彼等の手中に把握するとゝもに金利昂騰の折柄これによつて巨利を壟斷せんと企てこれが南京政府の知るところとなつて財政部より嚴重な抗議が發せられたことがこの程に至つて發見した、右イギリス系某銀行は横濱正金等とゝもに今日もなほ發行權を有してゐるが、幣制改革以來同行等の從來の發行券は殆ど回收されて市場より姿を消してゐたが、これを最近の財界混亂の機に乘じて再發行したもので現在の市場流通額は百萬元を突破するものと推定されてゐる、假令發行權を有してゐるとはいへ幣制の統一された今日幣制擁護の好意的態度を示し來つたイギリス系銀行がこの擧に出たことは頗る不快とされてゐる

于大臣 警察廳初巡視

于治安部大臣、薄田次長、横山顧問は二十五日午前九時首都警察廳初度巡視のため來廳廳内巡視の後講堂に於て訓示をなし十時より總監先導のもとに管内各警察署の初度巡視をなした、午後は中央警察學校の巡視をなした

人事往來

着京

▲渡邊寧綱氏（滿洲化學）二十四日來京ヤマトホテル ▲堀義雄氏（同）同 ▲西田秀雄氏（小野田セメント）同 ▲高橋日出太郎氏（會社員）同 ▲谷貞一郎氏（銀行員）同 ▲吉田元助氏（同）同 ▲廣瀬尚一氏（同）同 ▲高倉俊吉氏（同）同 ▲佐久間章氏（同）同 ▲小川久門氏（滿鐵）同 ▲鈴木正雄氏（ハルビン高等工業學校長）同 ▲隈元昂氏（電業）同國都ホテル ▲古泉光男氏（同取締役）同 ▲中谷繁雄氏（商業）同 ▲高井恒則氏（電業奉天支店長）同 ▲徳田貞一氏（三井鑛山）同 ▲與津時馬氏（鑛業）同 ▲星野龍男氏（滿鐵）同 ▲柴田正男氏（三井物産）同 ▲高橋誠一氏（大林組）同 ▲高津豊久氏（北滿製糖取締役）同 ▲鷹谷要藏氏（電業）同 ▲中山克已氏（三菱）同 ▲鈴木仁氏（三共製藥）同蓬萊ホテル ▲並河末雄氏（商業）同 ▲酒家彦太郎氏（滿鐵）同 ▲武藤卯一氏（同）同 ▲岡田一郎氏（同）同 ▲吉村格太郎氏（總局）同 ▲荒川海太郎氏（官吏）同 ▲萩原公盛氏（同）同 ▲高木廣一氏（同）同 ▲宇都茂雄氏（社員）同國際ホテル ▲三吉龍雄氏（滿鐵）同 ▲岩本定藏氏（電業）同 ▲下川茂登次氏（官吏）同 ▲赤江濤二氏（同）同 ▲川口常房氏（同）同 ▲友國久吉氏（運輸業）同 ▲米倉勝人氏（滿鐵）同 ▲内山忠作氏（商業）同富士屋 ▲黑瀧藤男氏（日滿商事）同 ▲山下潔治氏（同）同 ▲鈴木延平氏（同）同 ▲池田正氏（官吏）同 ▲岩端匡二氏（同）同

出發

▲松澤龍男氏 二十四日發京城へ ▲洲崎米作氏 同 ▲立花良介氏 同 ▲今井龍次郎氏 同綏芬河へ ▲生駒正壽氏 同東京へ ▲安藤文男氏 同延吉へ ▲西金七郎氏 同吉林へ ▲古木保喬氏 同ハルビンへ ▲大迫幸男氏 同 ▲原田孝一氏 同 ▲吉田晴二氏 同 ▲天野幸太郎氏 同奉天へ ▲芝喜代二氏 同 ▲徳田貞一氏 同 ▲川戸愛雄氏 同大連へ ▲佐瀬六郎氏 同 ▲田岡正明氏 同 ▲實吉吉郎氏 同 ▲森田敏郎氏 同 ▲山中繁雄氏 同 ▲水田政生氏 同 ▲勝盛信一氏 同淸津へ ▲明石健吉氏 同安東へ ▲渡邊榮敏氏 同撫順へ ▲中村信次郎氏 同吉林へ ▲堀江元一氏 同 ▲峰旗良光氏 同 ▲磯部新氏 同ハルビンへ ▲山田照氏 同 ▲吉田義雄氏 同奉天へ

その日く

□北支の作戰根據地すでにむなし、二次の抗日陣も浸まざるを得まい

□やられた敵機は二百八十四航空獎券で大衆を吊りてこさへたものもあつたらうに

□勝つて兜の緒を締めて、邁進するはただ暴支膺懲の一途である

□建設過程の經營に功成つて退く面々、輝く電業の讀辭は諸公の上にある

□秋雨しきりに、すでに濡れた樹葉に枯色あり、冬への準備體制が進む

支那語通譯募集

一、採用人員 今次事變ノ爲約五十名
二、志願資格 前回受驗セザル滿二十一歳以上滿四十五歳以下ノ内地人ニシテ滿鐵三等程度以上ノ能力ヲ有シ身體强健ナル者
三、試驗科目 會話、讀法、試問
四、試驗日時場所 九月二十六日午前九時ヨリ正午迄 新京 關東軍司令部／九月二十七日午後一時ヨリ午後四時迄 奉天 岩松部隊本部
五、志願者ハ試驗當日自筆ノ履歴書、所轄警察署長ノ身元證明書及健康診斷書各一通持參ノコト
六、採否ハ試驗後直ニ決定シ出發日時其他ハ現場ニ於テ指示ス
七、受驗ノ爲ノ旅費ハ自辨トス

昭和十二年九月二十四日
關東軍司令部

銃後の實踐强化

國民精神總動員委員會を組織し

實施要綱決定す

關東局では今次事變に對應し內地の方針に則り『國民精神總動員』を實施して擧國一致日本精神を發揚し非常時局に對する認識を深め銃後の實踐を强化持續し非常時財政經濟に對する擧國的協力の實行を期する目的の下に關東局國民精神總動員委員會を組織し二十四日第一回會合を開き左の如く要綱を決定し各所屬官署へ夫々通牒を發し官民一體となり此が實施を期することになつた、なほ二十五日午前十時武部總長は局員一同を會議室に集め國民精神總動員に關する訓示をなした

實施要綱

一、趣旨　擧國一致堅忍不拔の精神を以て現下の時局に對處すると共に今後持續すべき時艱を克服して愈々皇運を扶翼し奉る爲官民一體となりて一大國民運動を起さんとす

二、名稱　「國民精神總動員」

三、運動の目標　「擧國一致」「盡忠報國」の精神を鞏うし事態が如何に長期に亙るも「堅忍持久」總ゆる困難を打開して所期の目的を貫徹すべき國民の決意を固め之が爲必要なる國民の實踐の徹底を期するものとす

實踐事項は右の目標に基き日本精神の發揚による擧國一致の體現並に非常時財政經濟に對する擧國的協力の實行を主として之を定め事態の推移並に地方の實情等を考慮して適當に按配するものとす

四、實施機關

(一)關東局を中心とし內地、外地、滿洲國及管內各機關との連絡に當ること

(二)本運動の趣旨達成を圖る爲關東州內に在りては州廳長官を中心として關東州內官民合同の實行委員會を組織すること

(三)各民政署管內に於ては民政署長を中心とし官民合同の地方行委員會を組織すること

(四)市に於ては市長中心となり各種團體等を綜合的に總動員し更に區又は職場を單位として本運動の實行に當ること

會に於ては民政署長の指導の下に右の趣旨に準じ實行すること

(五)滿鐵附屬地に於ては第二號及第三號の趣旨に準じ日滿關係機關連絡協調の上各地の實情に應じ適宜措置すること

五、實施方法

(一)各官衙は夫々其の所管の事務及施設に關聯して實行すること

(二)廣く關係各團體に對し夫々其の事業に關聯して適當なる協力を爲さしむること

(三)各民政署管內及市に於ては州廳內に設置せる實行委員會及地方實行委員會と協力して綜合的に且區又は會每に實施計畫を樹立して其の實行に努め各家庭に至る迄滲透する樣努むること

(四)諸會社、銀行、工場商店等に於ては夫々實施計畫を樹立し且實行せしむる樣其の協力を求むること

(五)各種言論機關に對しては其の協力を求むること

(六)ラヂオの利用を圖ること

(七)文藝、音樂、演藝、映畫等關係者の協力を求むること

(八)滿鐵附屬地に於ては前各號の方法に準じ措置すること

不正業掃滅を期し今曉雨中の檢索

本署、領警呼應—百七十八名 "誓約一札"戒て釋放

愈々社會淨化と人類福祉の增進に寄與せんとする見地から發せられた阿片、痲藥の禁制品密賣不正業者の肅正工作に關する全權大使の聲明に基きこれが業者の徹底的掃滅を期して爾來全滿に亘り積極的活動が開始されこれに呼應し新京署に於ても不正業者の內偵に或は轉業指導にと着々實績を擧げつゝあつたが、最後的掃滅を期した同署では二十五日午前五時市民の曉眠を破つて篠つく雨中藤島署長陣頭に署員總出動の下に管下不正業者の一齊檢索を實施した

檢索した者內地人男二十五名、同女六名、半島人男二十一名、同女三名、滿洲國人男七十二名、同女六名總計百三十三名を檢束午前八時引上げた、これ等檢束者中內地人は全部、半島人は半數、滿洲國人は約三割と既に轉業してゐるものであるが、尚取調べの上〃今後絕對なさざる〃との誓約書一札を入れしめて釋放し、改悛の情なきものには司法乃至行政の斷乎たる處分に附し今後引續き嚴重取締り一人と謂へども不正業者の跋扈を許さゞる方針である

尚新京署の檢索に應じ領警署に於ても同時刻を期し青木警務主任を陣頭に管下の檢索を行ひ內地人男十二名、同女一名、半島人男二十五名、同女七名計四十五名を檢束目下取調べ中である

せねばならぬもの、痲藥の密賣等で司法處分にされるもの等で三分される筈である

八十餘名檢索

首都警察廳管下

首都警察廳では日本側警察機關と同時に二十五日早曉五時を期し折から降りしきる豪雨を衝いて管下各警察署總動員のもとに滿人不正業者の一齊檢索をなしかねて調査中の痲藥類密賣浮浪者總計八十餘名を檢索し各警察署に留置取調べを開始した、大體この度檢索された滿人不正業者は說諭の上更生正業につくもの、一定の職なく市の救濟院に收容

恩賜品傳達に

坂本上尉等を前線派遣

畏くも皇帝陛下におかせられては北支戰線に奮鬪する滿洲國軍の勞苦を御軫念あらせられ去る十八日于治安部大臣を召され恩賜品として醫藥材料および御紋章入り煙草を御下賜あらせられたが、治安部では聖恩の有難さに感激し最前線に活躍する將兵に恩賜品傳達のため來る二十七日恩賞股坂本上尉、軍衞課職員二名を派遣せしめることゝなつた【寫眞は恩賜品】

瀕死の軍馬を前に

泪ぐむ勇士

各自水筒から末期の水

【興濟鎭廿四日發國通】滄州總攻擊戰を前に前線の一部落にさしかゝるや路傍に一頭の軍馬が倒れ三名の砲兵が優しく介抱してゐたみると腹部に盲管銃創を受けて氣息奄々の有樣だ、兵隊さん達は各自の水筒から水を口に流し込んだり青草を摑んできては與へてゐるが軍馬はもはや氣力がない、やがて一人の兵隊さんに案內されて來た獸醫が聽診器で仔細に診斷してゐる、兵隊さん達は憂はしげに「獸醫殿如何でありますか」とたずねる

「可愛そうにもう駄目だ、水を與へてやれ、なに水は飲めなくてもいゝからこちらの清水を汲んで來てやれ、」

それから青草もな」兵隊さん達は一縷の望みも切れて落膽しながらも水をくんだり青草をとつてきたりして「よく之まで働いてくれたのになあ」と泪ぐみ倒れた軍馬を勞はつてゐる、獸醫は兵隊さん達に「それではあとで來るからよく介抱してやれ」と聲をかけて去つて行く「ハツ、よく勞はつてやります」あとはたゞ默々として瀕死の軍馬の首をいつまでもさすつてゐた

皇軍に感激し

英國退役將校が

ぽんと五百餘圓を獻金

【東京國通】全支の戰線を壓して破竹の勢で奮戰を續ける皇軍の輝くばかりの活躍ぶりにすつかり感激、光輝ある日本軍人のために少しでもお役にたとうと邦貨五百十圓をぽんと陸軍省に獻金した奇特な英國退役將校夫妻がある、夫妻は世界漫遊の途次戰火の上海を逃れて來朝目下丸の內ホテルに滯在中のスコツトランドの退役陸軍中佐チー・エッチ・グレーブス氏夫妻である

上海では大山大尉事件をまざくとみて來てゐるだけに暴戾支那軍に對し軍人の正義感から非常な反感を抱いてゐるので一層皇軍の聖戰に心からの溫かい感激と同情を寄せてゐたが華々しいわが銃後運動に刺戟され、到々我慢出來なくなつて秋季皇靈祭の廿三日午後陸軍省恤兵部を夫妻で訪れ慰問文に添へ英國銀行の小切手で卅ポンド(邦貨五百十圓)の獻金を申出たのである中佐は語る

大山事件を眼のあたりに見て今更ながら支那軍が全く國際法を無視した不信不義の軍隊であることがはつきり判りました、少數の兵でわが身を顧みず戰ふ日本軍數十倍の敵軍を相手に戰ひ人の赤誠は私共外人でも淚なしにゐられません、日本軍の奮鬪と最後の勝利を心から祈つてゐます

五萬圓獻金

日立工場員が

【東京國通】第一線皇軍將兵の奮鬪に感激する全國民の感謝は愛國獻金となり今や停止するところを知らない狀態だが、茨城縣助川町の日立製作所日立工場では國防普及會結成後四ヶ年にわたつて全從業員一丸となつて銃後の積立を續行してゐたが、支那事變の進行に伴つて全從業員一萬六千は積立金五萬圓を軍用機資金として獻金することに一決し、廿四日日立工業從業員國防普及會の名で獻金した

なほ遠く海外同胞よりも續々獻金が殺到し軍當局を感激せしめてゐる

巡廻慰問を廢止し

慰問袋一萬個

軍、治安部に獻納す

總務廳では每年秋季に日滿軍警慰問班を組織して國內治安警備の第一線に活躍する勇士の巡廻慰問を行つてゐたが、本年は時局に鑑み巡廻慰問を廢止して之が費用を以て慰問袋一萬個を作製、關東軍及治安部に五千個づつを獻納することゝなり廿二日より三日間に亘り總務廳會議室で之を作製、廿五日午前十一時星野總務長官は軍司令部に東條參謀長を訪問し納入手續をとつた、なほ治安部にも同日于大臣宛送付した

中等學校の野外演習へ

各校今日出發

二十六、七兩日に亘つて鞍山附近で實施される全滿鐵中等學校聯合野外演習に參加の新京商業學校四、五年二百十一名は二十五日午後三時四十分發列車で出發、同中學校四、五年生二百二十三名は同日午後四時四十分發列車で出發した、なほ青年學校參加生二百名は二十五日午後十一時四十分發列車で出發の豫定である

雨で各催し變更

グライダー

大會廿七日に延期

滿洲飛行協會各地支部の會員五十二名が技を競ふ第一回全滿グライダー競技大會は二十六日午前八時から新京南飛行場で開催豫定のところ生憎降雨に祟られ止むなく中止二十七日月曜日に開催することになつた

リレー延期

・體操大會々場 雨天は白菊校

明二十六日西公園に於て盛大に擧行される筈の第一回全滿體操選手權大會は天候の都合で雨天の際は白菊小學校に於て擧行される、なほ協和會分會對抗リレーは十月十日に延期された

競馬順延

新京競馬第三次第四日目は降雨の爲順延となり一日繰下げて廿六、廿七日と變更開催することになつたが、雨天上りの馬場不良に番狂はせを豫想されてゐるから明日曜競馬は異色ある競馬に終始するものとして一般ファンより期待されてゐる

土們嶺芋掘り

十月三日に延期す

新京驛、ジヤパンツーリストビユーロー新京案內所主催本社後援の土們嶺芋掘りは好評裡に滿員となり二十六日を待たれて居たが生憎く雨天の爲め已むを得ず十月三日に延期した

皆樣に感謝

吉田豐彥大將離京に際し語る

初代電業公司社長並に副社長として敏腕を振つた吉田豐彥大將及び入江正太郎氏は二十五日の株主總會で退職したが昭和七年關東軍特務部經濟顧問として就任以來五ヶ年半の間、滿洲經濟工作に幾多の功績を殘した吉田豐彥大將は本年六十五歲の老齡に拘らず七十回、亘つて日滿を往來し愈よ思出での滿洲を離れることになつたが離京に際して左の如く語る

昭和七年關東軍特務部に關係してから五ヶ年半になる特務部時代には電力統制に依る合併工作のほか滿洲化學工業、昭和製鋼所、滿洲曹達會社等幾多の特殊會社設立に關與した、電業に入つてからは借金工作に盡力し現在では電業の內容が內外財界でも相當知られるようになつた、在社三ヶ年大した過失もなく仕事が出來たことは偏へに皆樣の御援助に依るものであり感謝する次第です

なほ同氏は廿六日午前十時發「はと」で離京する(寫眞は吉田大將)

双眼鏡泥棒

二十四日午後八時頃朝日通四丁目路上を双眼鏡を所持して通行中の擧動不審の男を折柄警戒中の新京署鄕刑事が發見本署に連行取調べの結果右は本籍朝鮮全羅北道生れ住所不定安稚錫(一九)で去る十日阿城河東戶田組出張所に於て所員不在中を奇貨にペンキ二罐、双眼鏡一ヶ時價約五十圓を窃取せる旨自白した、尚餘罪嚴重追及中である

中野氏遺骨

引取に海防へ

協和會前指導部長中野琥逸氏が十九日佛領印度支那海防において時疫のため死去した事は既報の通りであるがその後海防より病狀その他につき詳報到着、協和會中央本部より遺骨引取のため特に人を派遣する事となり在奉天の故人令弟とともに海防に赴く事となつた

兩級中學運動會

吉林省立長春兩級中學校の第三回運動會は二十六日午前八時半から同校々庭で擧行する

佐野學氏が再轉向

打倒共產主義を强調す

【東京國通】二・一五事件、四・一六事件と相次いで赤の首領として活躍、捕はれて無期の判決をうけ恩典に浴し五一五事件を契機に翻然として日本精神に還り、皇室中心主義に轉向を聲明した佐野學氏(四七)はその後「日本共產黨抹殺論」なる手記を脫稿したが、さらに今次の支那事件に刺戟されてこのほど「最近の心境について」と題し反共產主義へ再轉向の上申書を當局に提出した、これは全文卅三枚の手記で、まづマルクス主義を反駁し、皇室中心主義を讃へ

我々が轉向したときに幸ひ何等の誤謬をも含まなかつた見解は、皇室についてのそれであつた、われわれは皇室が日本民族の頭部であり、最も神聖な精神的政治的中樞であり、民族の一切の精粹が集中的に皇室において、否むしろ皇室によつて表現されることを認識する、轉向の實情の中心點はここにあるといつてよい

と再轉向の原理を述べ、忠孝論から時弊についての意見、さらに時局を論じ防共協定を是認した上、ソ聯の現狀に及び

ソ聯の亂痴氣騷ぎをみるにつけ我々の轉向の正しかつたことを心秘かに祝してゐる、眞面目くさつて共產黨をやつてゐたら隨分拔き差しならぬ破目に陷つたらうと自己の過去における不認識を自嘲、最後に打倒共產主義を絕叫してゐる

鵜木、澤田警部

警察官異動に伴ふ後任者領警署檢事々務取扱兼司法主任鵜木警部は廿五日午後六時二十分着〃あじあ〃で新京署高等次席澤田警部は午後八時四十五分着〃はと〃で各々着任する

八島校父兄會に

在校記念に寄附

ダイヤ街天野恒太郎氏は子女大連へ轉校につき在學記念に八島小學校父兄會へ金百圓を寄附した

反田警部來社

新京署高等主任警部反田昭氏は二十五日就任挨拶に來社

木村事務官

對滿事務局事務官木村四郎七氏は滿洲各地視察のため二十九日午後六時二十分着あじあで來京の豫定

寺院と教會

▲日本基督教會―日曜學校午前八時半―、聖書學校午前九時四十分―、朝の禮拜午前十時半―、說教「已れの眼にあるウツバリ」富士山一雄―、夕拜午後八時―說教　沖野喜資

▲メソヂスト教會―日曜學校午前九時―、聖日禮拜午前十時十五分―、說教「權威あるもの」山口牧師―、讚美歌を歌ふ會午後八時

訂正

二十五日附夕刊二面所載第一回煤煙防止委員會とあるは幹事會の誤りに付訂正す

あす(九月廿六日)

▲全滿體操大會、午前八時、西公園運動場(雨天の際は白菊校)

▲吉田豐彥氏離京、午前十時

▲津田八重子女史個展、ニツケ

▲秋季第三次競馬

協和會座談會

協和會中央本部では二十四日午後五時より軍人會館に在京各言論機關代表を招待、先般開催の全國聯合協議會の成果その他についての座談會を開催午後八時散會した

〔今晚の主なる演藝放送〕

▲八・〇〇落語「上海」(東京)柱小文治▲八・二〇詩吟(東京)▲八・三五ニユース物語「從軍手帳」(東京)荒牧芳郎外▲八・五〇映畫物語「進軍の歌」(東京)佐分利信外▲一〇・一〇ニユース再放送▲一〇・三〇北滿の時間

開館二周年記念景品付興行當選番號

壹等　一、四一四　貳等　三、九六一　參等　四六五　四等　三、四三五　五等　一、九四二　六等　一、三三[illegible]

[illegible]

我等の仲間
佳作……優れた寂寥感
佛シネ・アリス作品

この人の幾つかの先行作品と異つた新しい興味と期待が注がれる點である、巴里で失業してゐる仲良しの五人の男達に一夜十萬法の富籤が當つて一度は金を山分けにして夫々の目的に向つて離れ離れにならうとするが、一人の男の提唱で五人の金を合してマルヌの川岸に地所を買ひ旗亭「我等の仲間」を建設することになる、何時迄も仲良く手を握つて生きてゆく筈であつた五人も、樂しい開業の日を前にして一人は戀の苦しみから、一人は追放を受けて去つて行つた、そして又一人竣工祝の日に屋根の上から過つて墜死した、そして最後に殘つた二人も惡い女を中に誤解からお互ひに身の破滅を招かねばならなかつた

◇……この作品の優れてゐるところは以上のストオリイをとほして所謂普通人の生活態度なり感情なりがよく把へられてゐることである、國情こそ違へわれ／＼はこれ等五人の仲間の動きからわれ／＼の身近にある人達と共通した多くのものを見出すことが出來る、そして更らに「無常」といふか、人生の儚さ、寂しさといつたものを感ずるのである、あれだけ仲の良かつた五人が、最後迄一緒に働かうと誓つた五人が、矢張り別れ別れにならなければならないといふ悲しい終局、これは生きてゐる者だけの味ふ寂しさであらうか

◇……デュヴィヴィエの監督はかうしたものを處理して卓絶したものを見せてゐるばかりでなく、先行作品の多くにみられた荒つぽさもなくなつてゐる、これはスパークのよき協力によるところ大きいとも想はれるのであるが、安つぽい感傷に墮すことなく餘計に走らず腰の据つた仕事を見せてゐる、恐らく彼の作品としては最高の水準を衝いてゐるものと言はれやう

◇……五人の仲間にはジャン・ギャバン、シャルル・ヴァネル、レエモン・エーモス、ラフエアル・メディナ、シャルル・ドラアが夫々扮し何れもよき善人としての好演技を見せてゐる外、ヴイヴィアヌ・ロマンス、ミシュリーヌ・シエーレルの二女優が加はり、ヴイヴィアヌ・ロマンスがヴァンパイアとしてこの映畫中唯一人の惡人となつて出演してゐる、その他端役に到るまでたとへば巡査とか醉つぱらひとかまでがよく動されてゐる味ふべき佳作、主演者にも顏馴染みが多いから洋畫ファンには見逃し難い作品であらう、帝都キネマ上映中、寫眞はその一場面（Ｎ生）

◇……ジュリアン・デュヴィヴィエの「地の果てをゆく」「巨人ゴーレム」に次ぐ監督作品で、シナリオは自身がシヤルル・スパークと協力して書卸したオリヂナルである、

國際映畫
"颱風"
スタッフ決定

「新しき土」に次ぐ輸出映畫として斯界の注目を引いてゐる新生國光映畫製作の「颱風」は、いよ／＼近く伊豆方面のロケーションよりクランクを開始する豫定であるが、同映畫は海を主體として日本を海外に紹介する意圖の下に純日本資本により製作される眞の海國日本映畫で、スタッフは左の如く決定した

△原作ウオルフガング・バジエー△脚色リヒアルト・シユワイツア△監督ウオルフガング・バジエー△美術監督河野鷹思△照明野口省三△音樂監督山田耕作

舞台劇を映畫化した音樂のカヴアルケードと激賞される情緒纏綿たる名作として期待されてゐたが愈よメトロ日本支社に入荷した

▼ウインナの舞台女優として鳴らしたローズ・ストラッドナーはメトロ社と長期契約を結び、故國を後にハリウッドに向つた、彼女はドラマチックな役を得意とするといふ

▽俳優で歌手で、かつてはフイラデルフイアの拳闘選手であつたアルバート・マーラーがメトロに入社した

南國太平記・後篇
"益滿休之助"

東寶京都が「東海美女傳」「血路」と共にＪＯマーク最後の作品として撮影中の並木監督大河内傳次郎主演「南國太平記」後篇は「南國太平記解決篇・益滿休之助」と改題された

此後篇は前篇の幕末より明治維新へと時代が移り、薩摩屋敷の焼打、上野彰義隊の活躍等がバックとなつてゐるので、當時の先覺者益滿休之助は颯爽洋服姿で登場する、大河内傳次郎の洋服姿は日活で撮つた現代劇「上海」以來八年振りで興味がある、なほ大河内の外黒川、山口佐喜雄、今成平九郎らも明治維新獨特の扮裝に凝つたところを見せてゐる

新興・大泉撮影所長に
六車修氏就任

新興キネマでは過般の重役會に於いて東京大泉撮影所長更迭を決定高橋同所長は勇退し後任には松竹大船總務六車修氏が就任した

勇退の高橋前所長は昭和九年秋新興現代劇部が京都から東京へ移轉後、大泉撮影所建設に努力し今日をあらしめた功勞者で、現に松竹新興兩社取締役、松竹新派部長の要職にあるので、今後は大泉撮影所相談役として城戸副社長と共に六車新所長を輔佐する事となつた

海外映畫短信

▽ジャネット・マクドナルド、ネルソン・エディ、ジョン・バリモア主演、ロバート・Z・レオナード監督メトロ超特作『君若き頃』はリダ・ジョンソン・ヤング原作の

さぼてん

久しく雲隠れしてゐた一つ家の二三丸、二十四日再出現挨拶に曰く「もうすつかりしました、戀愛て變なものね、彼氏をすきだ／＼と思つたら休まなくてはならんやうになつたの、でも彼氏も私がすきなんだからいゝでせう」とは誰かゞ驚くのも無理ない▲銀パレスの糸子君「私しお母さんに送りたいの」といつて三中井で滿洲土産をあれかこれかと探して居ること約一時間寫眞と云ふ寫眞、人形と云ふ人形を一つ一つ手にとつて見て居たが一寸腕時計を見たとたんに彼女颯爽と中央通りに出て行きました……勿論何にも買はずに

雑音

帝都キネマの「我等の仲間」豊劇の「未完成」と「一會」議は踊る」も一つ長春座の「ミモザ館」と一番、再映合せて歐洲映畫が久方振りに賑やかに並んだ▲春、夏とんと歐洲もの丶出なかつた頃に比較して心たのしむものがある▼三館ともに相應の入りを見せてゐるやうだし、矢張りいゝものには館側の方で積極的に乗り出しさへすれば客はついて來ることが判る▼尚先頃こゝに書いたもの丶他に歐洲もので新しく封切決定したものに帝都の「旅順港」豊劇の「巨人ゴーレム」などがあり「ゴーレム」は三十日夜ナイトショウが行はれる筈

ミモザ館
▽佛トビス作品、ジャック・フエデエの「外人部隊」に次ぐ監督作品で南佛のカジノのとある町のミモザ館そこの女主人が自分の養子に對して抱く救ひ難い愛の悲劇を中心にこゝに生活する人達の持つ人間心理の葛藤を描いた高度な作品、恐らくこれは我々の前に示された最上の作品と言つても過言ではなからうフエデエの冷徹な作風にわれ／＼はこの映畫の複雑な深い内容を吟味してし盡されないものがあらうフランソワーズ・ロゼエ、アレルム、ポール・レルナール、リーズ・ドラマール等が主演、長春座再上映中

滿洲電業第六回の株主總會開かる

取締役、監査役の改選決定

滿洲電業では廿五日午前十一時より本店會議室に於て第六回定時株主總會を開催し

一、本年上期營業報告書、貸借對照表、財產目錄、損益計算書承認の件
一、利益金處分案承認の件
一、取締役及監査役改選に關する件

を一括上程、利益金處分に就いては年六分据置きに可決、取締役及監査役改選は既報の如く決定して同十二時に散會した、電業株主總會に於ける社長の業績報告は次の通りである

社長業績報告

本日第六回定時株主總會を開催するに當りまして昭和十二年度上期に於ける當社營業の概況を御報告申上げ併せて滿洲電氣事業界の發展狀況を略述して御參考に供し度いと存じます

顧みまするに昭和九年十一月當社が滿洲に於ける電氣事業統制會社として設立せられましてより玆に三年の日子を經過したのであります、今日に於きましては其の營業地域は全滿を掩ひ、大連、奉天、新京、哈爾濱、安東、營口、錦縣、鞍山、西安、吉林、牡丹江、齊々哈爾の十二支店、承德、鐵嶺、洮南、海拉爾の四出張所、赤峰、佳木斯、勃利、富錦、黑河、双城、綏化、臨江、朝陽、綏中、平泉、岫巖、山海城、磐石、海龍、東豐、山城鎭、清原、通化、梨樹鎭、綏芬河、凌源、法庫、王爺廟の二十四營業所を設置し、他方其の資本統制下に在る關係會社は瓦房店以下孫會社を合し十九社に及ぶ威容となつたのであります

當社は夙に其の使命に鑑み新規企業地の開拓、既設事業の買收を圖る旁、將來の需要豫想を算定し之を基礎とする發送電計畫を樹立し、中央大發電所、超電力網の建設に依る豐富なる電力の供給を企圖し着々之が施設擴張に努めつつあるのでありますが、遡つて當社設立直前は日支事業の對立に禍されまして特に滿洲側に於ては孤立發電所に依る供給の範圍を出でず送電網の組成の如きは僅に日本側滿鐵沿線に於て稍見るべきものありしに過ぎざる狀態であつたのであります、しかも此の滿鐵沿線に於てすら技術的に超高壓線の架設不可能なりし事情に著しく電力の供給を阻礙して居たのであります、然るに事業對立の解消、二重施設の撤去は地域的、政治的制限を除去し發電所と需要地との連絡の自由を招來し爲て大發電所、超電力網に依る供給開始の機運を迎へ得る狀勢となつたのであります、此の方針に從ふ事業施設擴張實施の跡を辿つて見ることと致します、即ち發電設備と致しましては大連に於ける五萬キロ、新京に於ける二萬四千キロ、哈爾濱に於ける二萬四千キロの增設、變電設備と致しましては撫順の六萬キロ、渾河の三萬キロ、大連甘井子及天の川三萬キロ、鞍山の七萬五千キロの增設、送電設備と致しましては撫順より鞍山に至る亘長百三十粁、電壓十五萬四千ヴォルトの撫鞍送電線、電壓六萬六千ヴォルトの甘大連絡送電線、其の他四萬四千ヴォルト級の渾奉、奉天四馬路、新京城内、遼首、鞍遼、大東邊門送電線等其の主なるものであります、此の擴張致しました設備を總計し會社設立當初と本年六月末現在との設備容量を比較して見ますと、發電設備に於て七萬九千キロ、變電設備に於て三十萬三千キロ、送電設備に於て亘長六百粁を夫々增大して居るのであります、今發電設備に就き當社及當社外の設備容量を比較致して見ますと全滿發電設備の總計は約四十八萬キロでありまして、當社は其の四十七%二十一萬八千キロとなつて居ります、比較的當社外の部分の多大であるのは撫順炭坑及本溪湖煤鐵の大きな自家用設備に起因するのであります

事業施設の擴張と相表裏し電氣の需要狀況に於きましても其の飛躍的發展は次の數字が示す通であります、即ち當社設立當初たる昭和九年十一月末現在及本年六月末現在に於ける電燈、電力の需要狀況を比較致しますと電燈數に於きましては百五十三萬八千燈が二百二十四萬一千燈となり、七十萬三千燈四六%の增加を示し、電力契約容量に於きましては十萬三千キロが二十一萬八千キロとなり十一萬五千キロ百十二%の增加を示して居るのであります

既に申述べました通り事業施設の急激なる膨脹は必然的に多額の資金を必要としたのでありますが、素々當社は現物出資を以て設立せられました關係上營業收入財源のみを以てしては到底所要の事業資金を賄ふことは出來ませんので昨年及一昨年の二回に亘り合計二千五百萬圓の社債を募集し之に充當し來つたのであります、其の後事業施設の擴張は益增大し資金も亦巨額を要することとなりましたので七千萬圓の增資を行ひ四分の一拂込千七百五十萬圓を以て本年度の事業資金に充當することとし去る七月十五日臨時株主總會を招集し御決議を得たるところであります、尚電氣料金の統制狀況に就て一言申述べることと致します、既に御承知の如く當社は多數事業を合同し設立され且其の後に於きましても既設事業を多數買收し來つたのでありますが其の企業形態、經濟方針が事業者に依り區々たるが如く料金制度の如きも相異なる制度を採用し其の内容も亦區々たりし有様であつたのでありますす、當社は夙に料金統制問題に付研究を致すところあり、電燈及動力料金に就ては準備料金制度に、電氣料金に就ては最低料金制度に統一することを以て最も合理的なりとの結論を得、現在に於ては略之が統制の完了を見るに至り僅に二三の地方を剩すのみとなつて居ります、一方之と併行し料金の大巾値下を斷行し一方折角勃興の機運に在る產業の開發を助成し、他方需用家一般の負擔輕減に努力を致し來つたのであります、此の値下額を計算致しますに、昭和十年度に於きましては十五萬圓、十一年度に於きましては五十四萬圓、本年七月迄に於きましては實に百八十萬圓の巨額に達し居るのであります、而も尚營業成績に於て所期の成績を擧げ得ましたことは當社の事業の堅實性を物語るものに外ならないと考へ居る次第であります、次に水力發電問題に關し一言申述べます、御承知の如く滿洲に於ける發電は凡て火力に依るものでありまして目下のところ水力に依る發電は皆無の狀態であります、之は主として石炭資源の豐富なることと治安關係で水力發電資源の調査が行き亘らざりしこと及供給電力が小發電設備を以て足りたる過去の需要狀況等に基因するものであります、然るに將來は滿洲に於きましても大水力發電所の建設を必要とする事必至でありまして調査の結果は水力資源の相當豐富なることと判明し既に滿洲國政府企畫に係る第二松花江水力發電所建設も着手せられ、更に鴨綠江水力開發問題に對する滿洲國政府及朝鮮總督府間の協議進められ、滿洲側及朝鮮側に夫れ〳〵資本金五千萬圓の滿洲鴨綠江水力發電會社及朝鮮鴨綠江水力發電會社が設立せらるることとなり、之が設立に關する日滿兩國政府の覺書交換を了し、既に滿洲側に於ては會社創立手續を了し、朝鮮側に於ても近く創立の運びを見ることとなつて居ります、此等水力發電所完成の曉は此等水力電氣の送電は總て當社の手に依り行はれるものでありまして此の場合當社は之と密接なる連絡を保持し萬遺憾なきを期したく考へ居る次第であります

以上當社の發展狀況を申述べ滿洲電氣事業界の趨勢の一斑を窺つたのであります、滿洲國政府に於きましては肇國五年を經て愈積極的經濟的工作に乘出し產業五箇年計畫を樹立し着々之が實施を圖りつつあることは既に前回の定時總會に於て申述べた通であります、然るに突如勃發致しました支那事變は日滿經濟界に影響するところのもの輕視すべからざるものあり、新局面の發展は滿洲國產業五箇年計畫の實施に對しても新たなる意義を加へたるものの様に考へられます、從つて之と密接なる關係を有する當社も亦此の時局の推移に付多大の關心を拂ふものでありますが當社と致しましては國策の命ずるところに遵ひ滿洲に於ける產業開發並文化向上の爲賦課せられた名譽、使命を體し洋々たる其の前途を積極的營業方針の下に益光輝あらしめたく念願致し居る次第であります、次に本期營業の概略を報告申上げることと致します

先づ收支狀態に就て申しますと、總收入一千六百三十六萬六千圓、總支出一千二百四十三萬九千五百圓、差引利益金三百九十二萬六千五百圓であります、之を前期に比較致しますと、總收入に於て百五十八萬七千圓、總支出に於て百三十二萬圓、差引利益金に於て二十六萬七千圓の增加を示して居ります、償却高は減價償却、特別償却、財產除却を合し總計に於て二百四十一萬一千圓を行ひ、先づ堅實なる償却を行つたものと考へて居ります、純益三百九十二萬六千五百圓の期末興業費に對する收益率は七・〇七%となり拂込資本金に對する收益率は八・七%となつて居ります、營業狀態に就き申しますと、電燈數は二百二十四萬一千五百燈となり前期末の二百萬二千九百燈に比較し十三萬八千五百燈を增加し、電力契約容量は二十萬七千八百キロとなり前期末の十八萬七千六百キロに比較し二萬百キロを增加し、電熱契約容量は一萬六百キロとなり、前期末の一萬四百キロに比較し幾分の增加を示して居ります

施設狀況に就き申しますと發電所設備は二十一萬九千キロでありまして前期末の十八萬一千キロに對し三萬八千キロの增加であります、之は新京に於ける一萬四千キロ、哈爾濱に於ける一萬四千キロ、其の他の增設に依るものであります、變電設備は四十六萬六千キロでありまして、前期末の四十四萬二千キロに對し二萬四千キロの增加であります、之は沙河口鐵工場變電所、安東發電所變電設備其の他の增加に依るものであります、送電線路設備は亘長百六十一萬一千米でありまして前期末の百三十九萬三千米に對し二十一萬八千米の增加であります、之は鞍山、奉天、西安、牡丹江管内に於ける增加に依るものであります

關係會社投資狀況に就て申しますと、株式投資額は二百七十四萬三千圓貸金投資額は三百五十八萬八千圓でありまして、前期末に比較し株式投資額に於て六十七萬九千圓を減少し貸金投資額に於て八十八萬九千圓を增加して居ります

資產狀態に就て申しますと、資產總額は一億三千百七十一萬六千圓でありまして、前期末に比較し二百八萬四千圓の增加、第一期の昭和九年末に比較しますと實に二千八十圓の增加となつて居ります

本期中に於ける主要建設工事に就き其の概略を申しますと發電所關係と致しましては前期中より引續き建設中の新京發電所の一萬四千キロターボ發電機一台及汽罐一台が本期中に完成し、哈爾濱馬家溝發電所に新に一萬四千キロ發電機一台汽鑵二台の增設工事に着手し完成致しました、其の他營口に於ける二千五百キロ、齊々哈爾に於ける二千八百キロ、牡丹江に於ける二千三百二十キロの減設を完了致しました、變電所關係及送電線路關係に就ては管々しくなりますから說明を省略致します

事業の統制推移に就て申しますと、當社の關係會社たる東方電業を買收致しまして西安に支店設け、牡丹江出張所を昇格致しまして支店と致しましたので、支店の數は大連以下十二支店を數ふるに至りました、出張所は牡丹江の支店昇格に依る減と海拉爾直轄營業所の出張所昇格に依る增と差引四出張所の增減なしであります、直轄營業所は新に富錦及黑河に於ける既設事業を買收し夫れ〳〵直轄營業所を設置し海拉爾が出張所に昇格致しましたので數の上では五箇所となりました。關係會社は孫會社を加へ十九社となつて居ります、前期末廿四社に比し五社の減少となつて居りますが之は東方、雙城、富錦、綏芬河、通化の各事業を買收し直營機構に繰入れた爲であります

最後に、過般七月十五日開催の臨時株主總會に於て御決議を願ひました增資問題に就きましては既に官廳の認可を得まして目下決議案に從ひ株式の募集工作中でありますから御諒承御願ひ致します

私の御報告申上げたいことは大略以上の通でありますが本期成績は大體に於て良好なる成績を擧げ得たことを信ずるものでありまして、時局の重大性に鑑みるときは當社の責務も亦更に重大なるものあることを感ずるのでありますが、一方、產業に、文化に、一大飛躍期を控へたる滿洲の電氣事業界は前途愈有望なるものがあるのでありまして、當社の將來も亦株主各位の期待に副ふに充分なるものあることを確信を以て御約束することが出來るのであります

畢りに當りまして一言申述度く思ひますことは、本日の定時總會の終結に依りまして小職以下十七名の重役は其の任期を滿了するのでありますが任期中大過無く其の職責を果すことを得まして當社をして以上申述べました如き現狀に迄進展せしむるを得ましたことは偏に軍、監督官廳並株主各位の絕大の御指導御支援に依るものでありまして玆に重役一同に代りまして厚く御禮を申上げまして私の御挨拶を畢ることゝ致します

商況欄　二十五日前場

海外經濟電報

倫敦金塊	七磅〇志六片二分一
紐育金塊	三五弗〇〇
倫敦銀塊	一九片六分三
同先限	一九片六分三
孟買銀塊	五一留比六分一
スチール株	八〇弗二分一
アナゴンダ株	三七弗四分三

▲市俄古小麥

九月限	一弗〇五仙二分一
十二月限	一弗〇五仙四分三
五月限	一弗〇六仙八分八

▲紐育棉花

現物	八仙五三
十月限	八仙三三
十二月限	八仙二一
一月限	八仙二四
三月限	八仙三三
五月限	八仙四三
七月限	八仙五三

▲印棉

ブローチ	一七八留比
オームラ	一五八留比
ベンゴール	一三七留比

▲カルカッタ麻袋

青筋	二三留比八分七
鐵筋	二一留比八分五

▲外國爲替

英米爲替	四弗九四仙六
米日爲替	二八弗八七仙
米支爲替	二九弗八七仙
英日爲替	一志二片〇〇
英支爲替	一志二片四分三
印日爲替	七七留比二分一

各地株式市況

▲東京株式（短期）

	寄付	大引
新東	一四三、八〇	一四五、九〇
日產	六六、九〇	六五、三〇
鐘新	二三五、〇〇	二三七、一〇
滿鐵	五四、五〇	—
同新	八〇、四〇	八一、六〇

▲大阪株式（短期）

	寄付	大引
大新	八〇、三〇	八二、三〇
新東	一四三、八〇	一四四、五〇
鐘新	二三五、二〇	二三七、五〇
日產	六六、七〇	六九、四〇
日新	六〇、〇〇	六一、二〇

▲大連株式（短期）

	寄付	大引
五品	一五、六〇	—
豆新	一九、一〇	—
東新	一四三、五〇	—
日產	六六、八〇	—
滿鐵	五四、三〇	—
同新	四三、五〇	—
鐘新	二三五、一〇	—
土木	一三、五〇	—
日新	三五、四〇	—

各地商品市況

▲大阪綿糸

	寄付	大引
九月限	二三八、〇〇	二三七、七〇
十月限	二三六、〇〇	二三七、五〇
十一月限	二三七、一〇	二三六、〇〇
十二月限	二三四、〇〇	二三五、八〇
一月限	二三二、六〇	二三五、五〇
二月限	二三一、七〇	二三四、二〇
三月限	二三三、四〇	二三四、一〇

▲大阪棉花

	寄付	大引
十月限	三三六、〇〇	三三七、三〇
十一月限	三三五、一〇	三三六、〇〇
十二月限	三三四、〇〇	三三五、八〇
一月限	三三二、六〇	三三五、五〇
二月限	三三一、七〇	三三四、二〇
三月限	三三三、四〇	三三四、一〇
當限（納會）	六三、五〇	六三、〇〇
先限		

▲大阪人絹

	寄付	大引
當限	六七、四〇	六七、四〇
先限	七一、六〇	七一、七〇

▲大阪期米

	寄付	大引
當限	三四、〇三	三四、一〇
中限	三一、七九	三一、八〇
先限	三〇、八一	三〇、九八

▲橫濱生糸

	寄付	大引
現物	—	—
當限	八〇一	—
先限	七〇七	—

各地特產市況

▲新京（一石値段）

	寄付	引	出來高
現物 大豆	—	—	
高粱	—	—	
米	—	—	
小豆	—	—	
玉蜀黍	—	—	
先物 ●大豆 九月限	一〇六、一六	一〇七、〇〇	車
十月限	一〇五、八〇	一〇五、七〇	一〇八車
十一月限	—	—	
●高粱 九月限	—	—	
十月限	—	—	
十一月限	—	—	

▲大連

	寄付	大引
●大豆 袋入 九月限	七、〇二	七、〇三
十月限	六、七五	七、〇〇
十一月限	六、六六	六、七〇
十二月限	六、六五	六、四九
一月限	六、四四	六、四六
三月限	六、四〇	六、三三
●豆粕 現物	—	—
九月限	—	—
十月限	—	—
十一月限	—	—
十二月限	—	—
一月限	—	—
二月限	—	—

●豆油

現物	—
九月限	—
十月限	—
十一月限	—
十二月限	—
一月限	—
二月限	—

白い天使（しろいてんし）

林房雄作　吉田眞里畫

（一〇二）

嬲（二）

だが、秀夫と弘子とうせ、兄の家にながく世話になつてゐるつもりでない。秀夫のからだのなほり次第獨立して、二人きりの生活をきづくつもりで、いろ〳〵と將來の空想にふけつてゐるのだつた。

これからの二人の生活——それは二人が想像してゐるほど、たのしいものではないにちがひない。

二人とも、やつと人生の戸口にたつたばかりの年頃で、まだ〳〵現實の生活に對しては、ほんの子供である。

生活の荒波は、容赦なく二人をもてあそぶであらう。

しかし、子供であればあるだけ、戀の喜びに勇氣づけられて、いろ〳〵な計畫をたてることとは二人にとつてこの上ない樂みであつた。

秀夫は、遺產をうけとつたら、自動車を二臺かふのだ。といつてゐる。

正式に運轉をおぼえてそれで商賣をはじめる。

一臺は、今未決監にまわつてゐる篠田にやる。

……………

弘子は弘子で、秀夫が自動車學校に入つてゐる間に、洋裁をおぼえて、いつか白いスポーツ・ドレスをつくつてくれた友だちと一しよに、小さな、洋裁店をひらくのだと計畫してゐる。

生地代と最低の手間賃で新しい型の洋服を、どし〳〵供給したら洋服屋の暴利になやんでゐる職業婦人たちが、どんなに助かるかも知れぬといふのが、彼女の理想であつた

はれた日に、ヴェランダから、海をながめながら、また月のいゝ晩に、椿の花と椿の木の間の小路をあるきながら、そんな話をすることは、どんなに樂いことだつたらう。

われ知らず昂奮して、手をにぎりあひ、上氣した頰をよせあつてゐたことに氣がついて、慌て身をはなすことも、たび〳〵であつた。

今日も、實は、この計畫を兄にうちあけて、話のかたをつけるために、秀夫は朝から東京にでかけてゐるのである。からだがなほつてから、はじめての上京であつたし、それに、話の結果も氣づかわれたし、弘子はいくども、まちかねて、ヴェランダにでてみた。

時刻は、午後二時ごろである。

街と海の風景が、春めいた金色の光りの中で、ねむつてゐる。

椿の木の蔭で、しきりに餌をあさつてゐた鵞鳥の夫婦がだしぬけな聲をたてゝ叫びはじめた。

この鵞鳥は、人の氣配を感じるとてつもない叫びごゑをたてるので、番犬代りに飼はれてゐるのだ。

果して、小路の上に、人影があらはれた。

近づいたのをみると史子夫人であつた。

『あら、いらつしやい！』

『さても、あついわね！』

坂道をのぼつてきたので、史子は息をあげてゐた。

『秀夫さんゐない？』

『え、ちよつと……』

『散步？』

『いゝえ、お兄さんにあひに東京にでかけたんですの』

『まあ、さうなの——

あたし、そのまへに、會ひたかつたが——こまつたわね……』

思ひなしか、史子夫人の顏には重大さうな表情が、うかんでみえた。

舊八月廿二日　九月二十六日　日曜　丙辰　大安　危　虛宿

●一白の人　爪で拾ふて箕でこぼすが如き日飲食亦注意　乙と庚と辛が吉
●二黑の人　上調子になる時は後悔すること大なるべし　庚と辛と寅が吉
●三碧の人　心靜かに目的に向へば刻々と良運に惠まる　甲と乙と南が吉
●四綠の人　末の勝利を占めんには耐忍努力が肝要なり　甲と午と丁が吉
●五黃の人　自儘の所行に醜聞多く引立も亦失はるべし　丙と庚と艮が吉
●六白の人　引込思案は折角の好機を失ひ再起困難なり　辛と亥と北が吉
●七紫の人　油斷せば秩序亂れて吉日も凶日となるべし　庚と辛と北が吉
●八白の人　平穩無事の日焦りて波紋を起さぬやう注意　丙と辛と寅が吉
●九紫の人　曉の日射しを受くるが如き日熱心なれば吉　甲と丙と寅が吉

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

天津軍司令部當局談發表

今や河北大半の敵軍を截破

皇軍威武四邊を壓す

北支の肅正概ね完成近し

【天津廿五日發國通】皇軍の保定、滄州占領に對して天津軍司令部では廿五日午前十時左の如き當局談を發表した

反覆常ならざる支那軍の侮日抗日の暴戻を膺懲するため勇武なる皇軍は北支に出動して以來玆に二ヶ月、灼熱の炎暑を冒し豪雨を衝いて軍旅を進め全軍の士氣いよ〳〵昂まり昇天の概あり、凡ゆる困苦缺乏を克服して北支の山野を震撼し、まづ平綏線方面では長城における堅壘を破壞し八達嶺を越え忽ち察哈爾を占領し、更に張北に突入して皇軍の威武を朔北の地に輝かしてゐる、平漢線方面では山岳の要地に據る敵の凡ゆる抵抗を除去し或は敵前永定河の本流を敢然渡河し、涿州の野に大會戰を展開、更に敵を壓迫急追して敵の本據たる省城保定を占領し同方面の敵を擊滅した、津浦線方面では執拗な天津附近にある敵を掃蕩しつゝ連日の降雨と敵軍の河川堤防缺潰による洪水、沼澤地區を冒して窮餘の敵を壓倒靜海、馬廠、青縣、大城などの堅固な要塞を逐次占據し、遂に山東に通ずる要衝滄州附近の敵を攻略して敵軍の據點を掃滅せしめた、右の如く各方面において皇軍の向ふ處忽ち四邊を壓倒風靡し短期間に河北大半の敵軍を截破して逃散の敗兵は三々伍々群をなして敗退した、かくて北支の肅正概ね完成近きに至り明朗北支の曙光輝き、畏くも皇威と赫々たる武勳とは誠に同慶の至りである、全線將士の奮戰力鬪、勞苦、艱難缺乏に堪へたるを多とし併せて祖國々民の熱誠なる銃後の後援を謝するものである、惟ふに支那軍は最近裝備訓練など舊態を脫したりと誇稱して自ら恃むところあり、今次事變に際しては多勢を恃んで抵抗せるも精鋭無比なる皇軍一度その威武を發揮するや敵はもろくも潰れ、鐵火の制裁を加ふるに當つては我が威力は遺憾なく發揮せられ堂々北支を壓して內外の耳目を衝動せしむるに足るものがあつた、彼の敗殘支那兵の如きに至つては過去における驕慢の非を恥ぢ、皇軍の威武に慴慄を禁じ得ぬであらう、若しそれ暴戾の徒殘存してなほ抵抗を續くるものあらんか、皇軍は勿論征鉾を緩めず徹底的潰滅を容赦せず、もつて中國をして抗日の迷夢より覺まし、その反省悔悟を見れば滿足勿論である、しかるに南京當局は未だこの非を悟らず第三國と密かに提携し赤化勢力を維持自ら墓穴を掘るの非あるは寧ろその愚を憐れむべきものあり、吾人は斷乎中國における赤色勢力を破壞し東洋の平和を確保せんことを期してゐる、吾等は今次事變に出動全線に亘り北支戰場の夏草を鮮血に染め護國の鬼と化した戰歿將士の忠靈に對し謹んで哀悼の意を表するとゝもに、いよ〳〵皇軍出動の目的達成のため奮鬪努力もつて上聖明に副ひ奉り、一億國民の附託に副はんことを期する次第である

明朗北支建設の曙光輝やく

豐鎭の激戰!

(上)豐鎭へ突擊する宇根本部隊
(下)數次の激戰に多數の敵彈をうけた日章旗

寺內最高指揮官

飛行部隊に祝辭與ふ

【天津廿五日發國通】寺內最高指揮官は保定、滄州の攻略に偉功あつた飛行部隊に對し廿五日左の祝辭を授與した

永定河右岸の作戰開始以來貴部隊は晝夜天候の如何を問はずよく友軍の作戰に協力し保定および滄州攻略に寄與せしところ大なり、こゝに貴部隊の成功を慶祝す

天津南方各兵團にも祝辭を與ふ

【天津廿五日發國通】滄州陷落につき廿五日寺內最高指揮官は天津南方方面地區に戰鬪せる各兵團に對し左の如き祝辭を與へた

貴兵團は久しきに亘る氾濫地區の難路を克服し強靱なる敵の抵抗を排し相次いで津浦線方面の要地特に滄州を攻略し皇軍の威武を宣揚し得たり、こゝに貴兵團の成功を慶祝す

天津居留民けふ祝賀會開催

【天津廿五日發國通】保定、滄州陷落の報は第一線の平津居留民をして皇軍に對する感謝、感激の坩堝と化せしめてゐるが、軍司令部の所在地天津では廿六日午後二時より大和公園において民團共益會、在鄕軍人分會主催のもとに盛な祝賀會を擧行し、式後旗行列をもつて租界をねり歩くことゝなつた、なほ華北放送局からは當日の模樣を內地へも中繼放送する筈

參謀總長宮殿下

寺內軍司令官に祝電發せらる

【東京國通】閑院參謀總長宮殿下には北支における皇軍の敏速なる作戰、特に保定および滄州の敵陣地の陷落を嘉せられ、廿五日寺內軍司令官に左の如き御懇切なる祝電を發せられた

軍の敏速果敢なる作戰により敵の頑強なる抵抗を打破し、保定および滄州の敵陣地を占領するに至れるは欣快の至りに堪へず、玆に軍の成功を祝し深く將兵一同の勞苦を多とす

なほ杉山陸相も寺內軍司令官宛祝電を發し、派遣將兵に感謝の意を表するとゝもに武運長久を祈り事變以來作戰の間における犧牲者に對し深甚な弔意を表した

我保定入城軍

祝賀式擧行

【保定廿五日發國通】廿五日保定に入城した皇軍は午後四時五分莊嚴なる河北省政府跡において大祝賀式を擧行、〇〇指揮官の祝辭につづいて空もさけよとばかり天皇陛下萬歲を高唱、式を閉ぢた

【保定廿五日發國通】保定滿苑城晴れの入城式は二十五日午後華やかに行はれた、この日わが平漢線方面總指揮の〇〇部隊長は午後二時二十五分涿州よりの列車で到着、〇〇部隊の宿舍において少憩後、同四十分指揮隊長を先頭に各部隊長以下諸將威風堂々隊伍を整へて劉喨たるラッパの響きはためく日章旗と共に入城豪華な激戰繪卷を展開した

道義的政治政權の出現

北支民衆の翹望表面化す

【天津廿五日發國通】河北の二大要衝保定、滄州の陷落は平津地方の一般民衆に決定的衝動を與へ、廿五日まで支那軍の反擊に一縷の望みを抱いてゐた一部抗日分子も全くその希望を絕たれたので今や支那民衆の中から北支新政府待望の氣運が急速に表面化するに至つた、しかしてわが出先各關係當局においても戰局の進展に伴ひ銳意研究中であるが、事變勃發以來における北支新情勢の推移と現狀から考察するに新政府の實體は大要次の如き基本線を基調とするものと見られる、すなはち

一、今次事變の原因は全く南京政府の排日政策により胎生したものであつた、わが政府の根本的方針がこの聯ソ排日をモットーとする南京政府の打倒にあるものであるから、新たに發生すべき北支政府の基調もわが對支政策の基調方針に卽應すべき強力なる防共政府の實現でなければならない

一、從前の冀察政府の如き一面親日、一面抗日の欺瞞的存在を許さない、しかして新政權の首班は私兵を有する軍閥であることはこれまた斷じて不可である

一、しかして新政權の組織は支那軍隊を有せざる道義的政治政權で從來の支那政權にその例を見ざる純然たる文治政治なると同時に日滿支ブロック結成原則に基くものであらねばならぬ

一、新政權の對滿國交は物資ならびに勞働の需給關係より見ても對滿北支移民の民族的社會關係から見るも更に一層緊密化すべきである

海の荒鷲漢口、南昌襲ひ

敵機、軍事施設を粉碎

【東京國通】海軍省廿五日午前十一時發表＝廿四日わが〇〇海軍航空部隊はその數十機をもつて折柄の惡天候を冒して長驅漢口および南昌を空襲しその軍事施設に對しそれ〴〵左記の如く大損害を與へたり、漢口兵器廠、製鐵所に十數彈を命中せしめこれを大破し更に空中戰鬪で敵戰鬪機二機を擊墜す、南昌新舊兩飛行場を爆擊し修理工場、兵舍に多數彈を命中せしめ格納庫六棟および出動準備中の飛行機數機を爆破し數ヶ所に大火災を起さしむ、本空襲中わが軍の一機は敵彈を蒙りたるも搭乘員に異狀なく全部無事歸還せり

三回に亘り又南京大爆擊

【上海廿五日發國通至急報】廿五日午前十一時頃約一時間に亘つて行はれた本日の南京空襲は、敵戰鬪機約十機との間に壯烈無比な空中戰鬪が演ぜられ敵防禦砲火も死者狂ひの亂射亂擊を浴せ囂々たる爆音、銃、砲聲は南京全市を震撼した

【上海廿五日發國通】海軍航空隊は二十五日午前十時より正午まで三回にわたり南京の大爆擊を敢行した、第一陣たる高橋大尉の率ゐる部隊は市政府を爆擊粉碎した

【上海廿五日發國通】第二陣田中大尉の率ゐる部隊は下關(電燈廠)發電所を爆擊し、これに火災を生ぜしめた

【上海廿五日發國通】第三陣嵜長大尉の率ゐる部隊は南京の無線電信臺およびその以西部を爆擊した

江陰要塞を爆擊

【上海廿五日發國通】寺島大尉および西岡中尉の率ゐる空軍は二十五日午前十時半頃江陰要塞を襲擊、砲臺および兵舍に爆彈の雨を降らし、更に上流三十哩に碇泊せる巡洋艦一隻を爆擊これに火災を生ぜしめた

【上海廿五日發國通】二十五日午前十一時頃機關に故障を生じた海軍機一機は江陰砲臺上流水面に不時着水し陸岸よりする敵の猛射を浴びながら漂流中僚機の見事な救援作業奏功し乘員は無事歸還した

上海全線總攻擊

見事な空、步、砲共同作戰

【〇〇根據地廿五日發國通】廿三日朝來全線に亘つて激烈な總攻擊を續け敵要地を續々奪取した〇〇部隊は廿五日朝空、步、砲共同作戰も見事にさらに敵左翼部隊を擊滅すべく〇〇部隊および和知、淺間安達各〇隊は一齊に前進を開始したが、小堂子、趙家宅、唐家宅の前線根據地を失ひ士氣沮喪した敵部隊の敗色は刻々濃厚となつてゐる

一擧、厝灣に達す

【羅店鎭廿五日發國通】わが〇〇部隊の總攻擊開始以來連日猛攻を續ける足立部隊は、廿四日午後六時黃昏の雨を衝いて楊家宅を襲擊白兵戰によつて敵を斬りまくり一氣に上海街道を突破し、同八時瀏に達するの大殊勳を樹てた、楊家宅は此方面の敵の重要根據地で、死體百八十、機關銃卅、小銃、彈藥無數を遺棄してゐた、この戰鬪で敵の第九十師第二百六十八旅第二百五十六團の團旗を鹵獲した、同部隊は士氣ますます〳〵あがり息つく暇なく戰鬪を續けてゐる

閘北一帶を空爆

【上海廿五日發國通】わが海軍航空隊〇機は今朝八時頃より商務印書館附近閘北一帶の敵陣に對し猛爆擊を開始し、なほ繼續中である

名村大尉重傷

【上海廿五日發國通】赤縄隊長として勇名を轟かせた陸戰隊名村利正大尉は廿五日午前九時閘北青雲路橋附近で敵の機關銃のため胸部に貫通銃創を受け重傷である

坂本大尉戰死

【上海廿五日發國通】廿五日の第七次南京空襲に對し田中部隊の一員として參加した坂本大尉は敵の高角砲のため名譽の戰死を遂げた

捷地(津浦線)占領

【天津廿五日發國通】天津軍司令部廿五日午後四時十五分發表＝(一)滄縣を占領せるわが部隊は本日午前十一時捷地(滄縣南方八粁)を占領せり(二)滄縣附近の戰鬪における敵の損害は約二千(三)子牙河方面のわが部隊は本日午前十時宋張吉(劉各庄橋南方一粁)を通過し敵を西南方に追擊中なり

內長城線を占領

【東京國通】廿五日午後五時陸軍省發表＝(一)去る二十一日靈邱(蔚縣西南方五十五粁)を占領せるわが部隊は廿四日夕靈邱西方二十粁にある內長城線およびその西北方にある標高一千九百三十米高地を占領せり(二)九月十四日以降永定河畔より保定占領に至る會戰において敵に與へたる損害は廿四日までの調査によれば、すくなくとも一萬七八千を下らざるものゝ如し

【天津廿五日發國通】天津軍司令部廿五日午後四時十五分發表＝栗原、大場兩部隊は靈邱西方の長城線における敵陣を突破し本日午前九時廿分敵を西方に向け追擊中なり

上原子爵來京

故元帥上原勇作氏の長男子爵上原七之助氏は滿洲視察の途二十五日午後九時三十五分着京圖線で來京ヤマトホテルに投宿した

鵜木警部等きのふ着任

領事館警察署檢事々務取扱兼司法主任警部鵜木親三氏は二十五日午後六時二十分着夕あじあ〃で家族同伴着任したが氏は昭和十一年任警部で沙河口司法主任より大連署司法主任に榮轉し今日に及んでゐるが初任警部でグレート大連の司法の椅子に就けるは氏を以て嚆矢とするもので司法畑に育つた氏には適材適所として頗る期待を以て迎へられてゐる、驛頭氏は豪快な笑ひの裡に左の如く語つた

着いたばかりで語ることもない、新京に於る生活は今回が始めてだ、州內と異つてこちらは潑剌たるものがあると聞く、この新興國々都に働くことは愉快だ、各位の御援助によつてしつかり働くつもりでゐる、お手やはらかにお願ひする

尙新京署高等次席澤田警部、司法次席土師警部補、外勤監督近藤警部補はいづれも二十五日着任した

藤沼元警視總監來京

元警視總監藤沼庄平氏は滿洲視察のため二十五日午後六時二十分着あじあで來京ヤマトホテルに投宿した、同氏はホテルで次の如く語る

滿洲は一昨年も來てゐるし今度は前後四回の來滿だ、別に用務といつて特別なことはなく單に視察である、新京も一昨年と比較して長足た發展ぶりだ、驚く外ない、新京に四、五日滯在して、北滿へは行くまい、北支も飛行機の都合がつけば行かうと思つてゐるが、是非行かねばならぬといつた用事もない、かへりに朝鮮を廻つてよく視てみたい、支那事變もこの際徹底的にやつつけて善後處置をとるさ、朝野協力して進んでゐるから大丈夫だらう、この際他人の惡口をいつたり、揚足をとるやうなことを止めてお互に智慧を與へ合つて善處すべきだ

新京煤煙防止委員會は幹事會を開いて下半期事業案を審議した▼新京の降煤量は世界一でありその及ぼす影響の甚大なるに鑑みこれを撲滅する目的のもとに▼前滿鐵地事所長武田胤雄氏らが主唱して設けられたのが新京煤煙防止委員會だ▼同委員會は生れて漸く一年に過ぎないがその功績に於て多々見るべきものがある▼先づ第一に關東局の煤煙防止規則の公布となり今まで市中煤煙の大半を降らしてゐた滿鐵新京醫院鐵北發電所ボイラーの大改裝となり▼更に一般家庭に於けるストーヴペチカの焚方改善により經濟的に見る利益も相當莫大なる數字に上ることは云ふまでもない▼然しこれを新京全體として見るときはまだほんの一部分に過ぎないのであるが▼本年の事業案なるものを見るに前年と大同小異なることはいさゝか物足りない感なきを得ない▼前年事業の結果から見て最も肝心の各家庭の台所を預る婦人に對し煤煙防止の知識注入を忘れたことなど確かに千慮の一失といふものだ▼理窟はともかく要は煙を少くすることにあるのだその意味に於て一般市民も對岸の火災視せず名案あらば遠慮なく委員會に獻策する位の親切味があつて欲しいものだ

社說 滿洲國と國家總動員

一

支那事變發生以來の目まぐるしい時局を單的に表現して國家總動員準備の段階から實施の段階に入つたのだと言はれてゐる。事實、支那事變は總動員準備の體制を一歩も二歩も前進せしめたばかりでなく、今や國を擧げて總動員を實施するといふ段階に進み入らしめたのである。政府に於いても、事態の擴大に從つて或ひはそれ〲の必要に應じて或ひは産業界に或ひは金融界に或ひは勞働界に各種の臨時政策の實施を見るに至るのであつてこゝに國家總動員が實施さるる旨を表明してゐる。國家總動員とは交戰に當り、軍事の要求を完全に充すとゝもに一般國民の生活を確保しつゝ戰爭の遂行に向つて國家の全能力を發揮するため國家全體を平時の態勢より戰時の態勢に移し國家の利用し得る人的物的一切の資源を擧げてこれを統制按配し最も合理的經濟的にこれを運用する事に外ならぬ。いまわれ〱としては滿洲國に於ける動員計畫がどのやうになつてゐるかを見て置く必要を感ずる。

二

滿洲國は元來が統制經濟の國である。本年五月より實施された重要産業統制法は、滿洲國の統制經濟をはつきりと軌道に乘せたものであると言ふことが出來る。同法は滿洲國の經濟政策の根幹をなして居り、こゝで行はれる統制の性質を明白にしてゐる。もと〱滿洲國はその誕生の當初から國家施設全般が軍事的配慮即ち戰時動員計畫の線に沿ふて行はれてゐるのである。その經濟的建設も戰時動員計畫の見地から行はれてゐるこの經濟的建設を進展せしめる軌道が重要産業統制法であり、經濟建設の實體たるものは産業五ヶ年計畫である。この計畫が滿洲國だけの孤立したものとして立案實施されてゐるのでなく、あくまでもそれは日本と一體をなす建前でつくられてゐる事は最大の特徴である。

三

なほ重要産業統制法が實施された直後に、軍事徴發令が制定實施され、滿洲國の戰時動員制度は完成されるに至つてゐる。同法にいふ徴發とは物資を收容使用し、土地若しくは施設を使用管理しまた勞務者を徴用することを指し、軍は戰時または事變に際して動員その他出戰準備または作戰行動の必要ある場合購買その他通常の方法により需要困難なるを認めた場合徴發をなし得ることが定められてゐる討匪、警備、守備の場合も同樣である。以上の如く總動員の制度は出來てゐる。必要なのはこれに對し各方面の協力が遺憾なく行はれることであり、このためには更に努めるべき部分があらう。

淶源地方の地理的懷古

大宮權平

南口、八達嶺の峻嶮嶺頂に萬歳を謳ひし皇軍の一部隊は疾風迅雷西南方に進擊し蔚縣を陷れ淶源に進出し敵の根據地たる保定を指呼の間に脅威しつゝあるは實に空前の懸軍長驅其辛勞想察に餘りあり、此間道は著名なる北嶽の東部にて深山溪峪兩崖峭立し崎嶇羊腸僅かに一陘を通ずるのみ古來大行の第六陘蜚狐口として世に喧傳せられ春秋戰國燕趙の疆域たり、淶源より發する淶水は迂餘曲折幽谷の諸水を集めて河北の平野に出でゝ後は拒馬河と稱せらる、淶源より東方は深谷の浮圖峪、峻阪の紫荊關を經て淸朝の陵群西陵埜城の南邊梁格莊を過ぎて易縣に通ず、紫荊關亦大行の第七陘蒲陰口と稱せらるゝ雄關なり、浮圖峪は後燕の慕容垂が萬奴を發して魏軍を襲ひ雲中即ち大同を襲擊したる以來保定より淶源、靈邱、渾源を縫ふて大同に達する捷路として今只人跡を存するのみ、淶源南方祭刀嶺は積弱の宋朝が遼に高壓せられ拒馬河畔白溝鎭東西の一線を遼宋の境界とし現在平漢線南進軍の戰場歳幣を納れ漸く和議成りしに拘はらず宋將楊六郞延昭は獨り大行山麓に蟠居し頻りに遼兵を攻擊し大捷を博したる有名戰蹟なり、淶源西方に聳へる大岳は常山一名大茂山と呼び其頂を天峯嶺と稱し北嶽恒山と尊崇し漢代より明代初期に至る千六百餘年間南麓曲陽縣より望祀したりしが明の弘治六年より山西の渾源縣より望祀することゝなれり、此大岳中に道敎の宮觀多く閻豪府、列女宮、華陽臺、紫微宮、太乙宮等ありて今尙修道の靈場として信仰を繼續しありと謂ふ、忠膽義烈の皇軍の脚下には大行の崢嶸たる連峰も孤塊たる雜陘も踏破蹂躪其の振ひたる軍旅は寔に尊敬感激に堪ざるなり(一二、九、二〇)

數萬の兵を失ひ 四川軍を上海戰線に補充

雜軍の前線狩出に躍起

【上海廿五日發國通】北支會戰で大敗を喫し、さらに上海附近の戰鬪で無慮數萬の將兵を失つた南京政府軍事當局は、前線部隊の補充に大童であるが、川康綏靖主任劉湘も蔣介石よりの矢の如き督促でいよ〱四川軍を上海戰線に參加せしめることに決定、第廿一軍長唐式遵は所屬三個師を率ゐて廿三日重慶發下江の途についた、更に中央側は龍雲、岳等に對しても第五路軍の出動を督促中といはれ、江西第七軍二ヶ師は目下漢口經由下江中である、また陳經承(軍官學校敎育長)は中部動員指揮官として九江に駐屯し、湖北、安徽、江西の三省駐屯雜軍の前線狩り出しに躍起となつてゐる

知日派處刑

恐怖時代を出現す

【東京國通】日支事變發生以來南京政府ならびに黨部內の所謂知日派要人は非常なる迫害を蒙りつゝあるが、廿五日某方面への情報によると、對日强硬派は壓倒的勢力を占め政治方面では共産黨の巨頭周恩來の活躍目覺しく、軍事方面では白崇禧が中心となつて抗日氣勢を煽り從つて從來多少なりとも對日好意を示した名士は奸漢狩りの名目の下に多數逮捕銃殺された、知日派と目されてゐる高宗武亞洲司長は最近一週間位消息を絕つてゐるが、既に處刑されたとの噂あり、また汪兆銘も今のところ進退の自由は保障されてゐるがその行動は非常に警戒され、特に汪一派の褚民誼、曾仲鳴、彭學沛等は監禁同樣の狀態にある、藤州で何は一週間前逮捕處刑され、居許然、周作民は家族とゝもに香港其他に逃れてゐる等情勢極めて險惡なるものがある從つて南京では奸漢狩りの危險のみならず赤化勢力の增大著しく財産の危險を感ずるので有力者の大半は安全地帶を求めて逃亡しつゝあり、ために南京のみならず上海方面の有力者穩健分子までその所在を晦ましてゐるので警備司令部各機關を動員して細密なる密偵網を繞らしこれ等逃亡者を追求しつゝあり宛然恐怖時代を現出してゐる

天皇陛下 阮大使に御陪食 仰付けらる

【東京國通】天皇陛下には來る廿八日午後零時卅分曩に着任した滿洲國特命全權大使阮振鐸氏を宮中豐明殿に召され、梨本宮殿下御臨席、松平宮相廣田外相以下も召され、御陪食仰付けられる旨仰出された

米アジア艦隊 支那沿岸在留に決す

【ワシントン廿四日發國通】米國海軍は廿四日海軍省に海軍參議院會議を開き極東問題につき協議を遂げた、會議後米國アジア艦隊の行動は從前と變化なく日支紛爭繼續中同艦隊を支那領海に在留せしめる旨發表した

張國務總理 寺內大將に祝電

張國務總理大臣は二十五日北支方面派遣軍最高指揮官寺內大將に宛日本軍の大勝を祝し左の祝電を發した

貴軍各部隊の勇戰奮鬪向ふところ敵なく、今や保定、滄州の嶮を破り遂に北支明朗化を見つゝあるは眞に欣快に堪へず、こゝにわが國官民を代表し今次の大勝につき遙かに祝意を表すると共に將士各位の御勞苦に對し深く敬意を表す

滿洲國々務總理大臣 張景惠

寺內大將閣下

內閣情報部設置

官制は閣議決定御裁可を得 廿五日附官報で公布

【東京國通】政府は二十四日の閣議で情報委員會を改組し內閣情報部を置くことに決定したが、これに伴ふ內閣情報部官制は二十四日御裁可あらせられたので、二十五日附官報をもつて左の如く公布された

內閣情報部官制

第一條 內閣情報部は內閣總理大臣の管理に屬し左の事項に關する事務をとる

一、國策遂行の基礎たる情報に關する各廳事務の連絡調整

二、內外報道に關する各廳事務の連絡調整

三、啓發宣傳に關する各廳事務の連絡調整

四、各廳に屬せざる情報收拾、報道および啓發宣傳

前項の事務を行ふにつき必要あるときは內閣情報部は各係各廳に對し情報若くは資料の提出又は說明を求めることを得

第二條 內閣情報部に左の職員を置く

一、部長 (勅任)

一、書記官 專任五人(奏任)

一、屬 專任十七人(判任)

前項の職員のほか委員長および委員を置き部務に參與せしむ、委員長は內閣書記官長をもつてこれに當つ、委員は內閣總理大臣の奏請により關係各廳高等官の內より內閣においてこれを命ず

第三條 前條の職員のほか內閣總理大臣の奏請により書記官および關係各廳高等官の內より內閣において情報、報道および啓發、宣傳の事務を執らしむ

第四條 內閣情報部に參與十人以內を置き部務に參與せしむ

參與は內閣總理大臣の奏請により學識、經驗あるものゝ內より內閣においてこれを命ず

參與は勅任官の待遇とす但し本官を有するものには本官の受くる待遇とす

參與の任期は二年とす但し特別の理由ある場合においては任期中これを解任するを妨げず

第五條 部長は內閣總理大臣の指揮監督を受け部務を處理す

第六條 書記官は上官の命を受け事務を執る

第七條 屬は上官の指揮を受け諸務に從事す

第八條 屬の進退は內閣書記官長これを專行す

附則

本令は公布の日よりこれを施行す

官制公布さる 新陣容も正式發令

【東京國通】內閣情報委員會を擴大强化した新設內閣情報部官制は廿五日官報をもつて公布され、同時に橫溝光暉氏の情報部長その他委員長以下各委員の正式發令をみ新陣容なつた、なほ情報部に新設された參與の顏觸れは左の如く決定した

▲東京寶塚劇場株式會社相談役小林一三▲元情報委員會委員長藤沼庄平▲日本放送協會常務理事片岡直道▲ジャパン・タイムス社長芦田均▲實業之日本社長增田義一▲朝日新聞社主筆緒方竹虎▲松竹株式會社々長大谷竹次郎▲大阪每日新聞社主筆高石眞五郎▲大日本雄辯會講談社々長野間淸治▲同盟通信社常務理事古野伊之助

大磯町戰捷祝

【大磯國通】寺內北支派遣軍最高指揮官の本邸がある神奈川縣大磯町では皇軍將兵の物凄い奮戰により敵が不落を誇つた北支戰線の最大難關保定陷落の報に歡喜湧きたち現地における大將をはじめ皇軍將士の日夜奮戰と心勞を禮讚するとゝもに戰捷の祝意を表するため廿五日午後二時より西海町長を先頭に小學校、中學校、青年團、國防婦人會等各種團體五千名が大祝捷旗行列を催し大將留守邸に行進、西海町長より順子夫人に戰勝の祝辭を述べて萬歲を三唱、更に同町內を行進して高麗、白岩兩神社で戰勝報告ならびに戰勝武運長久祈願祭を行つた

眞崎大將無罪

昨日判決言渡さる

【東京國通】廿五日正午陸軍省公表

一、東京陸軍々法會議においては豫て二・二六事件に關し「反亂者を利す」被告事件として起訴せられし眞崎大將につき愼重審理中のところ九月廿五日無罪の判決言渡しありたり

陸軍當局談

【東京國通】廿五日正午公表陸軍當局談

軍は二・二六事件の發生に鑑み禍根を將來に絕滅せんことを期すために直接事件の關係者はもとより苟しくも事件に關係ありと認めらるゝ者、或はこれに關し疑ひあるものは悉く檢擧しその取調の結果に應じこれを東京陸軍々法會議の審理に附した、右軍法會議審理の結果については既に數次に亙りその都度公表したところであるが、いよ〱本日をもつて眞崎大將に對する判決言渡しを終了し、こゝに東京陸軍々法會議における被告事件一切の處理を完了した次第である

國軍三江地區 肅淸に活躍

邢連長の奮戰に…… 于大臣賞詞、賞金を贈る

日本軍と協力して三江地區の肅淸工作に從事中の滿洲國軍は各地においてその威力を發揮してゐるが、騎兵〇〇團長劉彭緒中校以下〇〇〇名は廿一日午前十一時頃富錦縣興隆鎭南方四粁の地點において東北抗日聯合軍馬師長、王師長と自稱する有力な共産匪約六百と遭遇し激戰四時間半にして敵に多大の損害を與へこれを潰走せしめた、この戰鬪に第〇連長邢富齡氏は部下を率ひ乘馬の儘匪中に突入し白刄を揮つて敵匪數十を斃し天晴れ國軍の眞面目を發揚した治安部ではこの報告に接するや直ちに于治安部大臣及び平林最高顧問より賞詞及び賞金を贈りその偉勳を表彰するところあつた

因みに匪團の損害は遺棄死體三〇、負傷五〇、鹵獲小銃一一、馬四七その他滿洲國軍損害は戰死二、負傷一

鋼材聯合會解散 棒鋼共販を設立

【大阪國通】鋼材聯合會は廿四日新大阪ホテルに總會を開き、棒鋼共販設立と聯合會解散を承認した、かくて昭和四年以來棒鋼販賣統制ならびに價格協定に九年間の歷史を有する鋼材聯合會は消滅した

中國民衆に告ぐ

弘報協會懸賞當選一等首席

齊々哈爾鐵路局…森次勳 (下)

元來日本は帝國主義的侵略を排擊するものであり、宛も太陽が六合を照し、萬物を無限に生成發育せしめる樣な絕對愛即ち皇道に立脚するものである、階級鬪爭を手段とし、無産者階級を煽動して世界革命を企圖するソ聯の野望とは異り飽く迄絕對愛的皇道を基調とし、共存共榮を目的とする大精神、即ち道義的協和政策に一貫するものである

抗日運動家達の內では、滿洲國の建國をもつて日本の中國侵略の如く誹毀し、盛に歪曲宣傳してゐるが、滿洲國は決して日本の屬國でもなければ保護國でもない

滿洲國は實に立派な獨立國家として發達してゐるのである、諸君は滿洲國が建國以來僅に數年にして政治經濟の各方面に亘つて正に劃期的發達をなし三千萬民衆はその業を樂しみ、協力一致建國の大業に日一日と躍進しつゝあることを知つて居られるであらうか

その輝しい發展振は實に世界各國が等しく驚異の眼をもつて感嘆してゐるところである

實に滿洲國建國は、舊東北軍閥の暴虐に苦しみ續けた三千萬民衆を救ひ、今や王道樂土の理想は著々として完成せられんとしつゝあるのである、華北の民衆が建國以來この樂土を慕ひ陸續として移住しつゝあることは最も雄辯に之等の實情を物語る事實であらう

今次事變の勃發に際し滿洲國三千萬民衆は、今や中國を毒しつゝある南京政權以下軍閥、共産黨の魔手並に彼等の暴虐に對し擧國一致斷乎膺懲の叫びをあげ、日本軍への絕對支持を以て中國四億民衆の再生を心から期待しつゝあるのである

中國民衆諸君！日本は中國に對して領土的野心もなければ一切の侵略的意圖も無い許りでなく、反對に日本こそ、中國の惱みを惱みとし、中國の喜びを喜びとせねばならぬ密接不可分の運命にあるものである、諸君はこの點を特に銘記されたいと思ふものである

即ち日本にとつては中國の混亂は直接日本の惱みとなる、中國が若しソ聯に赤化せられたなら日本にとつては直接前面に敵が侵入したと同樣の狀態となる、中國が紊し、かゝる障害がなければ日本は從つて安泰であり、中國と共にその喜びを分ち得る、これを更に全亞細亞民族の和平と發展の上から觀るも中國の健全なる發展は全亞細亞民族の最も期待するところなのである全亞細亞民族の團結を叫びその興隆の先驅となつて邁進して來た日本にとつて中國民衆の興亡こそは最も重大關心事であり、從つて日本は心から中華四億民衆諸君の協力と更生とを希望して止まないものである、かく日支兩國民は切り離し難き直接關係にあるが故に、日本が若し帝國主義的侵略を事とするならば、それは即ち日本自體自滅の途を行くものであり、日本の斷じて取らざる所であるのである

これを手近な實例に取つてみれば、今次事變においても日本は決して中國民衆諸君を混亂に陷れ、或は中國の領土を侵略せむとするが如き帝國主義的思想は斷じて排斥するところであり、實は中國民衆諸君の更生のため現下諸君の生活の癌となつてゐる軍閥、共産黨を膺懲し、やがて來るべき諸君の樂土建設のため起ち上つたのである、それは中國四億民衆のための戰ひであり延いて全亞細亞民族興隆のための聖戰であり、日本は武力無き民衆諸君に代つて蒙昧恥を知らざる軍閥を屈服せしめむとしてゐるのである

中華四億の民衆諸君、我々は日本のかゝる眞意に對し、心からの理解を望むものである

(六)

中國民衆諸君！

我々はこの短文をもつて我々の所懷を充分に述べ盡せないことを遺憾に思ふ、だが中國の現狀が如何なる危險に曝されてをり、それを救はむとして全亞細亞民族協和の名の下に起つた日本の眞意について一應眞相を明かにし得たと信ずる、われ〱は唯々諸君の正當なる理解を期待する

民衆の不安に乘じ煽動擾亂により民衆の幸福を根底より破壞する殘忍極まる共産黨の魔手を斷乎反擊せよ

民衆を壓制搾取し飽くなき私利私慾に終始する南京政權以下諸軍閥及びその一黨を絕對排擊せよ、われ〱は善隣中華四億民衆に心からの握手を求める、凡ゆる外敵に對抗し內患の克服に邁進すべき諸君の重責に榮光あれ、今や亞細亞興亡の非常時局である、諸君の先覺は既に亞細亞建設に起ち上つてゐる、われ〱は全亞細亞民衆の名によつて諸君の蹶起を心から熱望する(完)

新京取引市況

(廿五日後場)

	寄	引	出來高
現物 高粱	―	―	―
米高粱	―	―	―
小豆	―	―	―
玉蜀黍	―	―	―
●先物 大豆 九月限	六、一五	六、一七	二車
十月限	五、七八	五、七五	三三車
十二月限	―	―	―
●高粱 九月限	―	―	―
十月限	―	―	―
十二月限	―	―	―

手形交換高(二十五日) 三三九枚 六九七、八二六、〇〇〇

華北平原の敵を蹂躙 堂々保定に入城

市民も總出で皇軍を歡迎

【保定廿五日國通特派員發】追撃又追撃遂に保定を陥れたわが軍の○○部隊先鋒は廿四日午後二時半より北門から輝かしい入城を行つた、記者はこの光輝ある常勝軍に從軍してわが戰史を飾る燦然たる光景を親しく視察することを得た、爾後二時半雲間を洩れる秋の陽を浴びてわが部隊が全軍燦として城外壕の邊りに整列すれば城内外に今朝までの砲聲全く静まり明るい陽の中に一瞬のしゞまが漲る、突如超る劉喨たる喇叭の音とゝもに楊柳の蔭に輕やかな軍靴の響きが流れはじめた、見よ、わが皇軍の勇士の溢れる感激を胸に包んで北門を目指して城内に進む清苑城入城の勇姿だ、野を越え河を越え泥水に浸り、泥濘にうたゝ寢した轉戰の跡幾日夢にも忘れ得なかつた光輝ある瞬間が遂に來たのだ、泥濘に汚れた軍靴も輕く、髯は伸び、垢に汚れた將士の面には無量の感慨が歡喜となつて躍り、軍馬は嘶き蹄鐵の音もはづみ颯爽の行進は後から後から北大街を流れて行く、砲車も、自動車も總て歡喜の響を立てゝ進むのだ暴虐な支那軍のため罪なくしてその安住地を荒された市民はこの時まで穴倉、床下、天井等に隱れ戰いてゐたが、皇軍入城と知るや手に手に日の丸を翳して勇士を迎へる、老人も子供もわが兵の微笑に應じて俄作りの日章旗を頭下に打ち振るのだ、感激の行進は蜿蜒として西大街目抜に續いた、かくて日章旗は省政府の屋上高くはためき萬歳の聲は萬雷の如く中天に響いたのであつた、なほ軍の正式入城式は更めて行はれる筈

華北民衆の上に 輝く希望の曙光

【天津廿五日發國通】わが皇軍が北支地區に兵馬を進めてよりまる二ヶ月北支の敵を急轉直下潰滅に追ひ込んで保定滄州の陥落は成つたのだ、正義の大旆をかざしわが將兵の意氣は燦として天を衝き征馬の進むところ峨々たる山岳も濁流渦く大河も胸を沒する泥濘も前進をこばむ力なく敵軍をなぎ伏した到る處皇軍の武威は輝いて軍閥、國民黨の暴戾に呻吟した華北民衆に希望の曙光を與へたのだ七月七日の蘆溝橋事件、七月九日郎坊の激戰以來六十日の短時日に迅速果敢な無敵皇軍の前に華北平原の敵は鐵蹄下に蹂躪され津浦、平漢兩線の抗日作戰本部、保定、滄州は二つながらもろくも潰れたのである、九月廿四日、この日こそ晝に保定を陥れ夕に滄州を陥した日露戰役の旅順陥落に比すべき歴史的記念日となつたのだわが平漢線部隊が涿州平原に行動を開始してより十日、馬廠攻略より滄州占據もまた十日目である、かくて北支における抗日の策源地は一擧に覆へされ悪虐無道の軍閥、國民黨、赤色分子は再び立つ能はざるに至り華北三千萬民衆の上にはわが皇軍のもたらす希望の曙光が赫々と輝きそめた

羅店鎭の白堊館は 擬裝した近代的要塞

實地檢證の和知部隊長も驚く

【羅店鎭廿五日發國通】和知部隊が去る八月廿八日羅店鎭占據以來六十米隔てゝわが前線と對陣し强硬な抵抗を試みた問題の白堊館は二十三日午後四時同隊小野○隊と山内工兵隊、細見戰車隊の決死的協力と追撃により遂にわが軍の手に歸したが、二十四日和知部隊長自ら現地視察の結果、この白堊館こそ超トーチカの近代的要塞であることが發見された、すなはち白堊は厚さ五米、二段構への銃眼を有し三重の鐵條網に圍まれ壁の内には幅三米高さ二米の中樞に通ずる交通壕が掘られ、また中央部には强固な掩壕が構築され各所に山砲、機關銃を配して一歩たりとも退かず抵抗せんとしてゐたものであるしかも百米後方のクリーク對岸には督戰隊の銃口が嚴しく自陣の兵士の背後に向けられてゐるのは支那軍らしい戰術として苦笑を禁じ得ない、和知部隊長は語る

こんな堅固な陣地を築造してゐるとは以外であつた、しかしどんなに强靱な陣地を造らうとどしどし撃滅してゆくのだからわが軍の强さははかり知れぬものがある

白堊館攻略に

從兄弟が決死の奮戰

【羅店鎭廿五日發國通】○○部隊和知部隊が十餘日の研究の結果遂に陥れた白堊館攻略に當つて同じ父祖の血に繋がる從兄弟が死を賭して味方の勝利を導いた壯烈な武勇談がある

二十三日午後四時白堊館爆破終了とみるや和知部隊小野○隊麾下の山本、田上兩○隊は天地も割れよと突貫の聲凄まじく壁内に躍り込んだ續いて細見○隊に屬する戰車隊が一齊に前進する、その右側にあつて空撃を續けた田上○隊中村伍長(高知縣出身)はわが部隊目懸けて亂射する機關銃のうなりを耳にしたがその陣地が判明せず味方の兵士が次々にばたばたと仆れて左右に殘るもの僅かに七名となつたので、これ以上陛下の赤子に損傷を與へてはならぬと部下を制し白壁の左側に伏せを命じ單身小銃火を縫ひクリークを渡河前進すること三十米、遂に機關銃地を發見した、「こゝだ、突込め」と部下を激勵した瞬間敵の彈に胸部を射貫かれ壯烈な戰死を遂げたのだ、この時同隊の後方から猛進を續けて來たのは中村伍長の從兄に當る田上○隊の○隊長中村兼准尉だ、「中村伍長がやられた」と耳にするや「俺が仇を取つてやるぞ」と大聲で叫びながら機關銃陣地に躍り込んだ隊長を見殺しにするなとばかり爾餘の兵はこれに突入遂にこの地點を奪取、これに力を得た小野○隊は廿四日午前五時見事目的の各地點を餘すところなく占擄したのだつた、中村准尉は敗殘兵を追走中不幸敵小銃彈を左腕に受け軍服を朱に染めながら苦痛も忘れ、「從弟の弔合戰だ」と奮戰を續けたが小野○隊長の

「生きてもう一度御奉公を考へねばいかん、隊長が命令する、治療のため後方に行け」

との情ある命令に午前十時涙を呑んで衛生隊に收容された

駐支白國大使 過奉哈爾濱へ

駐支ベルギー大使ジエー・ギユイラム男は廿五日午前三時着滿鮮直通列車で天津より來奉同廿五分發列車で哈爾濱經由一路歸國の途についたが、驛頭で同男は支那事變についてあまり語りたくないと前提して左の如く語る

支那事變が勃發した當時自分は天津に居合せたので、事變の經緯を充分諒解してゐる支那事變の進展に伴ひ北支および南支における諸外國の權益が侵犯されやしないかといふ懸念を抱いてゐる向もあるやうだが、諸外國の權益擁護を聲明して居る日本は飽くまで諸外國の權益を尊重するだらうことを信じて疑はぬ、支那軍の北支軍事根據地保定滄州が相次いで陥落したことは車中で聞いたが、これで日支事變も急速に終局に進むだらう、自分は速かに日支間に新しい平和の來ることを祈念してやまない

英雄セミヨノフと共に 帝制擁護の廿年

犧牲勇士の慰靈祈願祭開く

來る廿六日はソ聯革命の當時セミヨノフ將軍が滿洲里でコサツク隊長に就任帝制擁護のため敢然立つた日の滿廿周年記念日に當るので在滿白系露人はこの日を記念すべく種々計畫準備を進めてゐるが、奉天では白系露人奉天事務局が中心となり廿五、六兩日市内西塔正教寺院において當時帝制擁護のため犧牲となつた勇士の慰靈祈願をなし、廿六日は午後六時より同事務局において記念講演會を開催、在滿白系露人の時局に對する覺悟と認識を新たにすることゝなつた

滿洲採金の事業資金 社債必要なし

滿洲採金會社では五ケ年間に二億圓採金の計畫に從ひ去る七月末拂込株金四百八十二萬五千圓を徴收し、本年度の事業資金に充當したが、更に明年十一月に三千萬圓乃至五千萬圓の增資を行ひ、毎年四分の一宛拂込を徴收し、之に利益金を加へたものを康德五年度以降八年度までの事業資金とし、同五ケ年計畫を遂行することゝなつた、右增資問題は既に株主たる滿洲國政府、滿鐵および東拓と諒解濟みであるが、本年度の資金としてはドレッヂャー建造費および鑛脈調査費が最たるものでドレッヂャーは現在事業に從事してゐるもの二隻、輸送中のもの三隻、註文濟みのもの一隻、計六隻あり、何れも資金手配はすんでをり、鑛脈調査も本年度の分は既に完了し、企業にかゝることゝなつた、この方の資金は去る七月徴收した四百八十二萬五千圓で充分賄へるから、本年度以降五ケ年間の資金には既に目算あり、日本で社債引受シ團を結成する必要はないものとみられる

朝鮮窒素會社 奉天、大連に支社設置

【京城國通】朝鮮窒素販賣會社では肥料以外の諸雜貨の滿洲における需要激增に鑑み奉天、大連に支店を設置することゝなり同社大崎事務は廿四日午後三時三十五分京城發渡滿し支店開設の準備をなすことゝなつた

二萬二千餘の受驗者殺到

陸士の入試始まる

【東京國通】將來のわが陸軍を背負ふ陸軍士官豫科生入學試驗は廿一日から廿四日まで市ヶ谷の陸軍士官學校内で行はれ、若き瞳を輝かせて火の出るやうな入試戰鬪が展開された、陸軍教育總監部では今年の志願者は支那事變を反映したものか二萬二千三百名といふ陸士始まつて以來の驚異的新記錄を示して當局を驚かしてゐる、滿洲事變の終つた昭和九年には一萬四百名の應募者があつて未曾有の數だと當局を驚かせたものだが今年は實にそれの二倍以上に上つたわけで連日の新聞には將士の死傷も相當多く傳へられてゐるが却つて志願者が空前の多數であることは外國などでは考へられない現象で、わが陸軍の强いのも右の様な獨特な精神的條件があるからだと思ふと感激してゐる、採用人員も今年は前例にない多數に上つてをり、尚この他に幼年學校から陸士へ進むものを合すると未來の將士を夢みる○○○○名に近い少年達が新學期から猛訓練を受けることになる

雜穀類の上砂拔取引

大連でも實現の模様

全滿における雜穀類の上砂拔取引實現については、さきに各地業者の贊成を得て今年新穀期より實行することに申合せを見たが、大連地場取引も同様右新制度によつて行ふやう重要物産組合より取引人組合に申込れたので取引人組合では二十五日委員會を開いて協議決定するが、同委員會でも異議なく承認される模様である

麻藥不正業者 奉天で檢擧

關東局と滿洲國の協力の下に全滿にはびこる阿片麻藥不正業者の一齊檢擧は二十五日午前三時半を期して疾風迅雷的に行はれたが、奉天においては猪苗代警察署長總指揮の下に全署員出動全市ならびに近接地區にわたり大々的な麻藥不正業者の掃蕩を行ひ、柳町七坂本富藏以下内地人四十名半島人三名、滿人百六十九名計二百十二名の大檢擧を行ふとゝもにモルヒネ三ポンド時價三千五百圓を押收した

日本教育視察團

滿洲國民生部主催の日本教育視察團一行金團長、森田補導官以下二十一名は二十五日出帆の黑龍丸で内地に向つた一行は東京を中心に各地の教育、軍事、文化施設を見學視察し來月十七日新京に歸着の豫定である

少年移民の訓練に

大訓練所設置

滿洲移民事業の一新生面を開拓する拓務省の少年移民計畫は愈よ明年より三ケ年計畫をもつて約三萬人の移民を入植することゝなつたが、この少年移民の現地訓練のため滿拓會社では先づ適當なる場所に一個所約一萬人を收容する大訓練所三個所を設置すると共に全滿各地に多數の小訓練所を設け大訓練所において約一ケ年の農事教育を施した後、小訓練所において實地的訓練をなす方針で、初年度には訥河附近に大訓練所を建設することに大體の決定をみてゐる尚右少年移民計畫に步調を合せ鐵道總局においても從來の自警村移民に右少年移民を採用すべく計畫を進めてゐる

日本糖聯

關稅率据置希望

【東京國通】日本糖業聯合會では滿洲國が近く關稅の全面的改革を斷行せんとするに際し、日滿實業協會を通じて内地糖業者側の希望意見を聽し來つたので、廿四日午後一時より工業クラブに各社協議會を開き、稅率の大部分据置きを希望する旨を決定し、直ちに回答を發した

△滿洲國輸入關稅(砂糖)に關する意見

一、一般的に稅率引下げを適當とするは勿論なるも同國財政收入が關稅に依據する點大なること、ならびに發達の途上にある同國甜菜業を保護する點より見て右の如く一般砂糖についてはその關稅額を當分据置くことを可とす

一、角砂糖および氷砂糖の關稅は他の種類の砂糖ならびに同國の民度に比しあまりに高率なるをもつて引下げるを妥當とす

大同學院生

佳木斯を見學

廿四日午前六時汽船にて來着せる大同學院井上院長、熊谷浦山兩教官外學生廿四名は廿四日午前八時半より松田省次長以下列席の下に省公署で座談會を開き宗庶務科長、兵頭濱尾兩事務官、福田拓政科長等より省下一般狀勢の説明を受け午後は各方面見學の上當地に一泊廿五日午前八時四十五分發列車で永豐鎭に向つた

明年度奉天省 朝鮮人移民

一千三百戶 入植に決定

奉天省管内明年度朝鮮人移民については省公署において本年六月以來東邊道各縣にわたり移民候補地を調査中のところ、この程興京、海龍兩縣下に五千六百餘町步の適地選定を終つたので明年三月中旬より約一千三百戶の鮮農入植を行ふことに決定、直ちに朝鮮總督府ならびに滿鮮拓植と連絡、土地買收、鮮農素質調査移民教育その他入植計畫に着手することゝなつた

釜山商議で

天津航路企圖

【京城國通】北支の情勢に鑑み朝鮮對支貿易振興は緊急事とされ各種の運動となつて現れてゐるが、朝鮮郵船の自發的北支航路開設に刺戟されて釜山では商工會議所を中心として釜山を基點とする天津航路の開設を促進すべく、朝鮮郵船に對し近く折衝を開始することゝなつたが、一方これと同様趣旨において大阪商船の天津航路釜山寄港を實現せしむべく大阪商船に對しても運動を行ひつゝある、なほ朝鮮郵船の北支航路は會寧丸が小麥粉、木炭を積んで本月以來往復してゐるが、毎航滿載の狀態である

動亂のスペインを舞台に 鎬を削るスパイ戰
亡命人民戰線派の兄弟を狙ふ 妖しい微笑の女黨員

日曜 コドモのページ

"ファシスト英雄黨員"

南佛の初夏、マロニエの花が甘く香る六月、動亂のスペインから國境を越えて担々たる道路が佛國バニョール温泉に續いてゐる。このバニョール温泉から國境道路へ向けて二哩ばかり離れた近郊の森林の中に一台の自動車が乘り捨てゝあつた。近くの農夫がふと車内を覗くと中は鮮血の海。路傍の叢の中に朝露にしつとりぬれた無慘な死體が二つ投げ出されてゐる。直ちに警官が急行して調査すると、死體はピストルで射殺された上、鋭利な兇器で胸部、頸部を刎られたもので、草むらの中には型變りのスペイン風の短刀が棄てられてあり空のピストルケース、彈丸箱も散亂してゐた。ピストルケースにはうら若い女性の指紋、短刀には筋肉勞働者の指紋があり、更らに短刀には靑インキで「ファシスト英雄黨員」と書いてあつた。

フランス官憲の捜査網は直ちに全國に張りめぐらされ國境には憲兵まで增派されたが現在に至るまで杳として行方が解らない。スペイン動亂の眞つたゞ中である。佛國の神經が直ちに動亂をめぐる軍事スパイの暗躍と推定したのは當然の事であつた。被害者は伊太利人でカルロ・ロセリとネロ・ロセリの兄弟で、兄のカルロは現在パリに亡命してゐる反ファシスト人民戰線の闘士で機關紙「正義と自由」の新聞記者、弟のネロは伊太利フロレンス大學で强烈な新毒ガスを發明し、ファッショ政權を嫌惡して佛國へ亡命してゐたものと判明した。

尋四 伊藤好信（三笠校）

人民戰線陣營に捧げた命

この謎を解く爲には十九年の昔に遡らなくてはならぬ。一九二二年ファシスト黨のローマ進軍に依つて伊太利全土は左右兩黨の血腥い闘爭が開始され兄カルロは敢然武器をとつて反ファシスト黨に參加した。人民を犠牲にするファシストと闘へ！伊太利の勞働者は反ファシズムの名の下に果敢な闘爭を續けたが、遂にファシスト獨裁は樹立され、血腥い彈壓が日夜斷行された。かくて兄カルロはフランチェスコ・ニッチ前首相と共に伊太利本土を追放され、嚴重なる護送の下にチレニア海のリパリ島のラーガーに監禁された。こゝに居ること四年、遂に脱走してカルロは佛國に走つた。弟はその時フロレンス大學敎授になつてゐた。

尋一 秋山康（八島校）

フランコ將軍進撃を開始す

伊太利ファシストのローマ進軍は十四年の後スペインのフランコ將軍に依つてマドリッド進軍となつて再現された。

スペインの首府マドリッドを一哩の地點まで進軍しフランコ將軍は總攻撃の最後の謀議を進めてゐた。「人民戰線軍を救へ」の叫び聲に應じて、佛國、ソ聯、伊太利人の義勇兵は、反ファシズムの旗の下に陸續として政府軍に投じ、マドリッド死守に最後の準備を進めてゐた。この時突如としてどこからともなく、フランコ將軍の陣營に「マドリッド防禦は頑强極まるさうだ」「ソ聯の機械兵團が到着し我軍は到底攻撃出來ないらしい」といふ様な噂が、パッと廣まり、反軍の幕僚の心理を捕へて了つた。フランコ將軍のマドリッド攻撃は中止と決定された。これが「フランコ將軍の重大誤謬」として獨、伊で問題となつた。この爲に、總攻撃見合せであり、マドリッドは現在に至るまで、難攻不落の威力を發揮することが出來たのだ。

この報をきいてひそかに微笑んだフランコ將軍麾下の義勇兵が居た。この義勇兵こそ反ファシスト黨の闘士でリパリ島を脱出したカルロだつた彼は人民戰線軍のスパイとしてフランコ將軍の下に義勇兵となり、内部攪亂に苦鬪を續けてゐたのだ。

尋四 茂野多恵子（室町校）

アッ無電暗號が盜まれた！

反政府軍の腑甲斐なき行動、マドリッド總攻撃の中止は、いたくファッショ國伊、獨を刺戟し、フランコ將軍麾下の將兵が日に〳〵意氣沮喪してゆくのに堪えかねて、伊太利では最新鋭武器を反政府軍に輸送することゝなつた。この情報を手にしたカルロは直ちに人民戰線側のスパイ本部に行き、これをマドリッドの同志に報告しやうとした。だが無電室に入つた技師はすぐに顔色を變へて出て來た。

「だめだ、無電暗號を盜まれた」これをきいた時カルロは直ちに戰線で知つたシルビアといふ美貌の女義勇兵を頭に浮べたが「まさか」と打ち消さゞるを得なかつた。彼女はカルロと同じく人民戰線側から潜入した仲間だと自稱してゐたのだ。

「無電が駄目になつた以上身を以つて戰線を突破して味方の政府軍に報告せねばならぬ」

スパイ情報部長は同志達を見渡して云つた。カルロは自ら志願して此役目を引受け戰線に躍り出た。夜陰に乘じて木影、岩影に身を潜めて必至になつて目的地に急いだが政府軍陣地に三、四百米といふ地點でダンといふ壓迫を受け其の儘地上に倒れてしまつた

ふと我に返ると彼は眞白いベッドの上に横たはり窓からは物靜かな山村の景色が眺められた。

「カルロ」

美しい顔が花の様に微笑した

「おゝ、シルビア」

彼女の話に依るとこゝは佛國とスペインの國境で國際巡邏駐屯軍の病院であつた。彼女の手厚い看護でカルロの病氣も急速に恢復し、弟のネロ・ロセリも巴里からやつて來て三人で南佛バニョール温泉で保養することゝなつた。弟ネロは强烈な新毒ガスを發明しそのまゝ伊太利を亡命したので伊太利政府からその秘密を奪取するためにつけ狙はれてゐたのだ。

つけ狙ふ女の正體は？？

南佛バニョールの六月の窓外には小鳥が轉り緑の田園が爽やかな南風にゆられてゐる。カルロの傷は間もなく癒えた二人が再びスペイン政府軍に投じようとした時、ネロの毒ガス方程式は何者かに盜まれてしまつた。

「シルビア」

二人の疑惑は同じくこの女性に注がれ、シルビアを散歩に連れ出してそれを確めることにした。

坦々たるアスファルトの國境道路、夕陽に街路樹が赤く光つた中を三人を乘せた自動車が驀進してゐた。と突然自動車の前に數名の怪漢が立ちふさがり「失敗つた」とカルロが叫ぶと同時に、彼の横腹にズッンと熱い衝撃を受け、シルビアの手にした銃口から二人に向つて白い煙が流れたほんの瞬間だつた。自動車は硝煙の中に捨てられ、シルビアは、妖しい興奮を殘して數名の男と共に何處ともなく姿を消してしまつた。今に至るも國籍も判明しない。彼女は何處で妖しい微笑を浮べてゐるであらうか？

けふの番組

〔M・T・C・Y 新京放送局〕廿六日（日曜日）

●朝●

六、二五ニュース（東京）
六、三〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
八、〇〇氣象通報
八、〇五朝の音樂（大連）
九、三〇子供の時間（東京）
うたのおけいこ（二）子供のテキスト九月號特選童謠
かへるとおへそ 矢野みちを作詞 弘田龍太郎作曲 黑澤貞子
一〇、〇〇（東京）
一、挨拶 日暹修好滿五十周年の記念日に際して所感を述ぶ 駐日シャム公使 プラ・ミトラカム・ラクシャ 通譯 矢田長之助
二、講演 日暹修好滿五十周年の記念日に際し日暹關係に就いて 子爵 岡部長景
一〇、三〇講演（東京）演題未定 布利秋
一一、一〇經濟市況（東京）
一一、二〇講演（東京）輸出品包裝の改善に就いて 貿易局第一部長 乘杉研壽

●晝●

一一、五九時報（東京）
引續き 東京大學野球聯盟リーグ戰實況（東京）＝明治神宮外苑野球場より中繼＝
〇、三〇ニュース（東京・新京）
一、〇〇謠曲（牡丹江）＝全日滿放送＝
＝野球を中斷す＝
東部滿洲の現狀 牡丹江省長 大島陸太郎
一、二〇能樂中繼（東京）
二、〇〇劍劇三題（東京）
＝野球なき場合放送＝

ラヂオの御用は 東京無線 電（3）四九二〇・五三八九番

●夜●

四、〇〇ニュース（東京・新京）
四、三〇天氣概況
＝野球を中斷す＝
六、〇〇子供の時間〜滿洲國治安部通信部軍用鳩育成所鳩舍より中繼
社會見學 滿洲國軍用鳩育成所 順天小學校兒童 解說 井崎大佐 アナウンサー 上森重治 野村良平
七、〇〇ニュース（東京）・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇講演（大阪）＝中之島公會堂より中繼＝ 演題未定 商工大臣 吉野信次 遞信大臣 永井柳太郎
八、一〇日曜特輯ニュース・演藝（大阪）
八、三五滿鮮交換放送（京城）獨唱と管絃樂 唄 玄濟明 管絃樂 DKオーケストラ
八、五五講談（東京）那須與市扇の的
九、三〇時報・ニュース（東京）氣象通報・ニュース・告知事項・番組豫告 新京
一〇、一〇ニュース再放送
一〇、三〇北滿の時間（哈爾濱）
一一、〇〇滿語ニュース・講演・音樂
アナウンサー 上森（朝）佐藤（晝）宮岡（夜）

那須與市扇の的 西尾魯山の講談

（後八・五五 東京より）

□…茲に 沒落の平家方は一の谷に敗れ讃岐の屋島の沖に船がかり源氏方は陸路に互ひに睨み合ひの形で時に大納言宗盛が一生の智慧をしぼり考へた末に參議宰相の娘玉虫に官女の盛裝させ舳に立たせ旗竿の先に日の丸の軍扇を開いて結びつけて立てた兵船を陸路近くに寄せ玉虫檜扇を開き源氏方に弓取あらば見事軍扇を射てみよと呼び掛る。義經其意を察し傍の畠山重忠に命ずる重忠辭退して下野の住人那須與市宗高を勸め早速召されて義經より命を受け一度は辭退したが重忠が指す以上仔細なしとて許されず然らばと乘り出だす。時に文治元年二月十八日與市正年十八才堅き覺悟はもし射損じれば源氏方一統の恥辱なり心靜かに渚に馬を進めたが矢頃遠く十五六間乘り入れ浪間の岩の上に馬蹄を立て眼閉ち弓を矢神を念じ目を開けば風に動きし扇も靜止した鏑の尾の大矢を取り日の丸に矢を立てるは恐れありとねらいを定め扇の要を射切つたり地紙は高く飛んだがヒラ〳〵浪の上に落ちる敵は船板を味方は楯の板を叩いて賞美する。

□…玉虫 は檜扇を揚げて朗らかに「時ならぬ花や紅葉を見つるかな吉野初瀬の麓ならねど」和歌一首を贈る此時伊賀平内兵衞の無禮を怒り與市が一矢に平内を射殺す。是が動機で源平の船戰となるが與市が蹄を立てたのが與市の祈り岩と殘る後與市に多くの領地を給せる末世に英雄武者鑑に那須與市の扇の的として美名を殘す源平盛衰記の内の一席の拔き讀です。

滿洲の芝居

新京にはいゝ小屋がない

演劇親話會記錄（二）

榮厚　今日は滿日文化協會が民生部と合同して行つた親話會の第二回目、劇の方の話をきくつもりでこゝに御出席を願つた方には劇のみならず文藝の方の話もして戴きたいのです、御多忙中多數の御出席を賜りましたが今後とも御援助がお願ひ致したい

大體お話の順序としまして第一に演劇の制度、演出に關する習慣、第二に俳優に關し第三には滿洲に於ける演劇の振興と改善に關する事項第四にラヂオドラマに關し、これははつきり分けた譯ではありませんが、第四のラヂオドラマだけは異つてゐるからはつきり分けて御話し願ひたいと思ひます、丁度唯今張前大臣から芝居音樂の方面に對するお話がありましたが最後は現代の劇、音樂に就て話されたので私がそれに次でお話し致します

先づこの最近の芝居の狀態は皮黄と云つてゐまして地名から出てゐます陝西の奏腔、弋陽の弋腔、或は崑山の崑腔何れも特殊な音曲名を持つてゐるのはその地名によつてゐます、先づ明代には南曲が盛んになり梁伯龍は浣沙計といふ調子の唄を作り李龍輔は水磨調といふ音律を作りそれからなほ非常に盛んになりました、これは曲雅で普通の人には分らない、學問のある人でも分らない、それは音律が分らないから唄へなければ分らないものでした、清初はまだ盛んでしたが清末即ち私の子供のときは一日二三個處で好いものを聽くことが出來ましたが、三十才頃には一月に一回位となつて次第に衰滅して來ましたが、今は多少復興して來ました、それは唄ふ劇本を印刷し客に配ることなどやり初めて一つの變化とも言へるが、まだ十二分に盛んになつたとは云へません、とに角新らしい機運が出來て來たのは事實です

それから崑曲は明一代に盛んに行はれたが、その次は弋腔である、それも次第に衰へて清末の親王家で特に弋唱の役者を置かれたこともあつたが非常に少く私もそのあるといふことは知つてゐるが、自分は聽いたことがない、併し文獻によるとそれが崑曲、皮黄兩者に關係があるのは事實です、その次に奏腔が盛んで、これは程度の低いもので一時盛んなこともあつたがそれも衰へました、粗荒な音なので初めは知識人は嫌つてゐた、民國になつて場末で行はれてゐましたがそれも非常に少くなつた音曲です次にはさつき申上げた皮黄で、これは一番崑曲と關係が深く次は弋唱でそれは主に武劇に關係を持ち、奏腔にも少しは關係はあるが大したことはありません、奏腔よりはよいが崑曲や弋腔ほど優雅ではありません、それから皮黄の發祥地は湖北の黃陂、黃崗であるが中心地は北平であつて、その次が天津或は上海で共に本場とはいへません、滿洲も同じく唯北平から送られるだけです、俳優には一流から三流四流の一座が北平にあつて滿洲にはその三、四流が來るに過ぎません、勿論滿洲でも上手な清客、票衣、つまり同好者がやるといふことはありました

この皮黄といふものは昔の古雅に較べられないことが事實であることは張大臣が申された通りですがこれはどこにも流布されてゐます次に芝居を學ぶには子供のときでなくてはいけませんそれで筋骨の軟い八、九才から入らなくてはなりません、教師は顏や體附きによつて生、旦、淨、末、丑の五種に分けて道化役に又は女形に分けて夫々專門の教育するのです、併し武劇、立廻りは誰でもやらなくてはならないので、それから文劇が出來るのです、この子供達は各班即ち一座によつて教育されるが非常に嚴重なもので普通の學校の十倍も修業が難かしく、三年とか五年とか幾年かやつて出班、つまり卒業となるがその以後引續いて一方では學習をやり一方では舞台に出るので、この學習が長ければ長いほどいゝ役者になり、觀客、一般民衆に深い感銘を及ぼします、さういふ譯で若し一般の民衆が、文字、法律は知らない者が多いが、一度その芝居をきけば分らないものはない、耳から入るのですから感化力も強い、それでこれを歷史的に見て民衆教育に效果があるのですから、この劇は保存しなくてはなりません、就てはその缺點を改良しなければならないのです

こゝでまた滿洲の芝居の狀態を申上げますと以前は奉天、吉林、黑龍江、熱河の四省がありましたが、奉天の樣が第一で以下夫々奉天の樣に盛んではないが、芝居が行はれて弊害がありました例へば奉天だけに芝居の劇場は七つ位あるが、そのため各々が大きなものは出來ずいゝものはかからないといふ狀態でこれは吉林でも同じ事で人口との割合をみずに願出があればすぐ許可するといふので濫立し總て營業が不振に陷つたのです新京ではもと新明戲院と交通銀行の附近に一つ、東三馬路との三つあつたが今は新明戲院一つとなりましたで、營業狀態はよくなくてはならないが惡い、それはいゝ役者が來ない、即ち營業主任が一座を虐待するから北平から來る役者は大連、奉天を經て新京には寄らずハルビンに行つてしまふ、では歸へりはといふにやはり新京は拔かして奉天に行つてしまふ、特に新京は一國の首都であるに拘はらず今は芝居小屋が一つ而もそれがよくない、その上役者は一座もゐない、これでは首都の面目上遺憾である、芝居を如何に好きなものでも今の芝居小屋に足が向かないのが現在の狀態であります

そんな關係だから滿洲の劇を改良するのは不可能であるといふの改良さるべき一座がない、で先づ新興することが問題で新興してから改良する、新興と同時に改良するといふことが必要になつて來ます

だから現在はラヂオドラマに關係を持つものだけが存在するのでありますが、それも勿論新京にはいゝものはありません、ハルビンのはいゝ、面白い、併しラヂオは時間の制限があるので一定の調子があるものを詰めたりするので感心しません、勿論いい人も少く、たまにやればさういふ無理が生じてしまふし、それだけに演劇といふ方面には困難があるのです

また樂器も非常に關係してゐて銅鑼は古い良いものでも僅か七、八圓だのに新京ではそれを用ひない、で聞いてゐて音が惡い、北平、上海のやうに行きません、銅鑼一つでどこの芝居か判る位のものです

この四つの今日の話については私は喋つてしまひましたが皆さんにもお話をお願ひします、なほまた御質問でもあれば張大臣と私と烏さんと劉さんとで大いお答へが出來ますでせう

秋日抄

堀江信夫

玉蜀黍の莖の鳴るころ
玉蜀黍の匂ひは好きだ

いつぱいに實をつゝんだ玉蜀黍は
若い女の胸のやうにふくらんで
葉の蔭にそつとかくれてゐた
玉蜀黍は金髮のひげを持つてゐた
わたしはそのひげに觸るのが好きだつた

夕風が野をわたつてくるころ
玉蜀黍の葉は
さわ　さわ　さわ　と
一せいにさわぎはじめた。（舊作）

迫力に乏しい

院展評

久山道夫（※）

帝國藝術院が出來て、その美術部なるものが舊帝國美術院會員をそのまゝ網羅するといふことになつて美術騷動も一先でけりがついたかのやうでもあるがこれに伴ふ畵界分野の變動もまた何かと跡にイザコザを殘す原因ともならう。唯一の在野展として强力國體を以て畵界に君臨してゐた日本美術院が文展に合流するとなると勢ひ恒例の秋季展も何やら中途半端な存在にならうとするのを致し方ない事かもしれない。直言すれば本年の院展は力において寂寥である。春の試作展に毛の生えた程度である。がまたその範圍でなら決して駄作の行列と酷評すべきでもない。中々見ごたへのある作はあるのである。作品の寂寥はその幹部首腦の不出品といふことに基因する。古徑、靫彦、青邨といふところが欠けるとたとへ大觀ありと雖も横綱だけゐて大關、關脇を缺いた地方巡業相撲と等しく本場所を見るといふ感じがなくなる。文展に出す作品に主力を注ぐとなれば兩方へ力作を描くわけにもゆかぬ事情もあらうが、見る方では寂しいといふより外ない。大觀の作も先づ小品といふ例の作品であるが、しかしまた平常小展に見る作品の如く肩のこらない親し味のある作品といふ感じがする。二點ではやはり「夜深」の墨調の快適な情趣を探る。同人では酒井三良の適作小品が一つの進境を見せて來たのを感ぜしめる。淺くなると挿畵にもなりさうな構想だが、快適高雅に筆を運んでゐる「暮色」「安息」「霧流る」などをよいと思つた。小川芋錢の「欄上淡樹」も例の洒脫な南畵味が何の反感もなくこの自然人の素朴な畵境を傳へる。樂しめる繪といふ點で芋錢は永久に芋錢であつていゝ。中村岳陵の「雨五題」も好個の小品である。この畵人は歌人のやうな態度で繪をかく、そのモチーヴが恰度短歌に見る自然詩的內容でありその描寫である鄉倉千靱の「麓の雪」はすがすがしい作品である。自然の詩趣、或は土臭を捉へることに於てこの作者の快心な作品であらう。單調と言へば筆に澁滯の跡がない。眞道黎明は大觀の墨調に模さうとしてゐるが氣魄に缺けてゐる。奧村土牛が可成りの大作を出した牛ならぬ仔馬である。一面春の綠草を以て畵面を掩ひ、そこにどつしりと仔馬をおいた圖、單調だがしかも重厚な作品だ。且つこゝで土牛既往の製作態度にない或るものを加へた。山村梨花の「蝦夷人」を見て昨年北齋形式がかういふ風な寫生作品に向ふ一つの準備行動であつたことに思ひ至つた。どこか筆を拔くところを忘れたやうな處があるほど生眞面目であるが、然しこの作品は作者の充分の意圖をその線の用法に見い出うる。

本欄紹介を望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△奉天市商會月刊（八月十五日號）奉天の滿人經濟界關係諸記事を盛る（奉天省城鐘樓南大街路西三七號、奉天市商會、二角）

△精軍（九月七日號）于大臣「關於華北事變」その他國軍關係ニュース等、（治安部調査課）

家庭醫學

腹痛百態

これからお腹の病氣が多くなります。どんな病氣の場合にどんな痛みを伴ふか―病氣を判斷して早く正しい手當を行はなくてはなりません。

一口に腹痛と申しましても、腹に痛みを覺える病氣は種々あつて胃腸を包んでゐる腹膜や腹壁の痛みから、胃、腸、肝臟、膵臟、脾臟、腎臟等の内臟諸器官の故障から起る痛みまで樣々であります。またその痛み方も強い場合、弱い場合、繼續する場合、途切れる場合、錐でもみ込む樣に痛むこともあれば腹から背へ放散するやうに痛むこともあつて千差萬別であります。

それらの痛みの中で最も多いのは胃腸病が原因となるもので、殊にこれから夏にかけては胃腸が弱り、また

食物も腐敗變性し

易いのでその方の病氣がめつきりふえますから、大體その痛み方と、手當法について知つてゐることは必要であります。

まづ心窩部のあたりが痛む時には大體胃の病氣と思つて差支へありません。急性胃カタルの場合には痛みの他に大抵は嘔吐があり、その吐いたものには膽汁が混つて居ります。その痛みが下腹部へ下り、軈て烈しく下痢するのは急性腸カタルを起したもので、兩方共慢性になれば、左程痛みはないが胸部を押すと鈍痛を感じます。またこの痛みは常習便秘の時にも感じます。

空腹時に心窩部の痛むのは大概胃酸過多症です。之は胃液の分泌及び酸度が多過ぎる病氣で、痛みの外には酸つぱいゲップが出たり胸やけがします。胃潰瘍の痛みは食直後から二時間位の間に起るのが特徴で、痛みの程度はしく／＼痛い位から抉る樣な、灼く樣な痛みに至るまで樣々で、場所も心窩部ばかりでなく背中の方へ突き拔ける樣に痛むこともあります。

次に、食後に膨痛を感じて胃が重苦しく痛む胃弱はよく嘔吐を催します。胃擴張、胃下垂も食後に之とよく似た容體を現しますが胃擴張は胃弱よりは一般に容態がひどく、胃下垂には嘔氣がありません。

ところで、これらの

胃腸病の手當と

しては、從來、胃酸過多症には重曹の如きアルカリ劑を、胃腸カタルで下痢するものには收斂劑や澱粉劑、便秘には下劑を、と云つた樣に、殆ど化學製劑による對症療法の範圍を出ない物ばかりが用ひられてきました。從つて胃腸病の症狀によつて用ひる藥はそれ／＼違ひ、素人ではその選擇が仲々困難で、うつかり間違ひますと、腸カタルの痛みだと思つて盲腸炎の場合に下劑をかけて病氣を增惡させたりする危險もあります。それで廣く色々な胃腸病に用ひて、副作用もなく、いづれにも効果のあるのは、若素（わかもと）であります。

この若素（わかもと）には十數種の活性酵素や、豊富なビタミンBをはじめ種々の榮養素、ホルモン性物質が含まれて居りますが、その中心をなしてゐる作用は學問上細胞原形質賦活作用と呼ばれ、即ち衰弱してゐる胃腸の細胞に活力を與へて、損傷を恢復し、その機能を健全に立直すので、從來の對症藥にのみ頼つてきた胃腸病の治療に新方面を開拓したものとして推奬されてゐます。

ですから胃酸過多症の人が之を服めば胃液の分泌が調整されて酸度が正常に復す樣になりますし、胃腸カタルには消化吸收が活潑になつて、下痢や便秘が自然の健康便になると云つた風に、各種の胃腸病に廣く効果を及ぼすのであります。」

慢性胃カタルや胃潰瘍患者は御用心

★胃癌に移行する危險が最も多い

胃癌は文明病と云はれてゐる樣に、近來ます／＼罹病者が增加して參りました。東大長與博士の統計的研究によれば、我國で癌のために死亡する人は、毎年少くとも四萬三千人位で、その約半數二萬一千人位は胃癌で仆れてゐるとのことであります。

この胃癌の發生する原因については、現代の醫學でも未だ明確な判斷が下されて居りませんが、少くとも胃癌は、健康な胃に突然出來るものではありません。

これは動物實驗において、種々の藥品を用ひて

癌腫

を作る場合にも、非常な努力と、根氣をもつて長期間續けなければ癌が出來ない樣に、胃癌の場合も、必ず長年月の間に胃粘膜にある種の病的變化が起り、そこに癌の下地が出來るのであつて、この狀態を醫家は癌前驅症、或は先驅病變と云つて居ります。即ち最近の醫界で最も問題とされてゐる慢性胃カタルや胃潰瘍はこの癌前驅症に相當するものであります。

有名な細胞病理學の提唱者、ウイルヒョー博士は「胃の病的刺戟の主なるものは胃カタル、胃潰瘍で、殊に胃カタルは度々繰返してゐると胃癌になる」と説いて居られますし、また最近、米國のメイヨークリニクでは、胃癌の四〇―六〇％は胃潰瘍から出來ると、これまた統計上の研究を發表して居ります。

斯樣に我々は胃癌を豫防せんとすれば、この癌前驅症である慢性胃カタルや胃潰瘍に罹らぬ樣に注意しなくてはなりません。そして一度これらの疾患に罹つたならば速かに徹底的の治療を施して以前通りの健康な胃に恢復させておくことが大切であります。

それには、酒、煙草等の嗜好品の制限や、日常食物の注意も勿論肝要でありますが、藥劑としても、刺戟が強く而も副作用の伴ひ勝な化學製劑を運用することはなるべく避ける事が良いので、むしろ若素（わかもと）の如く病變した胃腸細胞に活力を與へ自力的に機能を強化させる働きのある藥劑を選ぶのが適當して居ります。―

この藥は、近代藥學最大の發見と云はれるヘーフェと、他の優秀な菌種を選擇綜合し、これを專賣特許の方法によつて製劑した特殊微生物藥でありますが、この中には、酵素や各種ビタミン、アミノ酸、及び胃潰瘍に特効あるヒスチヂン等の貴重榮養素が網羅されてゐますので、之等の成分が綜合的に働く結果、衰弱した胃腸細胞に榮養が與へられ、機能が健全に立直り、カタルや潰瘍を起してゐる粘膜も次第に恢復に向つてくるのであります。

この若素（わかもと）は東京芝公園大門内、國際わかもと本舗榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇〇番）から、錠入千錠一〇日分九〇〇瓦入、三百錠二〇日分僅々五六錢（小兒には二三錢）の廉價で發賣されてゐます。向、滿洲國、中華民國の各地藥店でも取次販賣してをります

檢査を前にして便秘解消の喜び

（鹿兒島）上村慶太

私は四五ケ月前から、天草方面に出稼ぎに出ましたが、水が惡いためか或ひは油の多い魚類ばかり食べて野菜類を餘り攝らなかつたためか、便秘になり腹に力が入らぬので思ふ樣に仕事が出來ませんでした。

處が私の兄さんが「錠劑わかもと」を服用する樣になつて腹の工合が良くなつたから、お前も服用してみる樣にと申しましたので、早速天草郡牛深町牛深藥局に行き一圓六十錢のを求め服用してみました。すると二三日も通じなかつた便通が少しやわらかになり、腹の工合がよくなつて來ましたので、それに力を得て服用を續ける中、便通も正しくなり、今では毎朝必ずある樣になりました。

この正月久し振りに我が家に歸つてきましたら、會ふ人毎に家にゐた時よりは顔色が良く、太つてきた、今の調子でゆけば徴兵檢査も大丈夫甲種合格だらうと申します。（中略）檢査を前に控へてこんな嬉しい事はなくこれも「錠劑わかもと」のお蔭と感謝して居ります。

カブトのカッちゃん

中島菊夫

1. おそくなった早く歸らう
2. やあれは / 夜ねむれんのでたいへんでせう
3. 夜ねむれんなら「錠劑わかもと」がよくきくよ / ありがたうだが夜ねむると仕事がつとまらんです
4. ヤレ／＼夜まはりのおぢさんだつたかきまりがわるいや

廣告の御用は電話（3）三三〇〇番へ

同胞發展に貢獻卅年 輝く民會史茲に閉づ

意義深き最後の日を迎へ きのふ嚴肅な解散式

新京居留民會率先解散

明治四十一年六月未だ名もなき田舍街長春に日本居留民會の看板を掲げて爾來三十年間幾多我等が先輩、開拓者の支柱となり其發展に努力し遂に今日の隆々たる勢力に至る迄常に同胞居留民と苦樂を共にして來た光榮ある新京日本人居留民會は滿洲國の獨立に伴ふ治外法權の撤廢に依つて昨年七月先づ課税權の移讓をみ現在に至つたが愈よ九月三十日限り全面的にその業務を滿洲國に移讓することゝなつたので二十五日午後三時より總領事館構内居留民會議室に於て解散記念式を擧行した(寫眞は解散式と居留民會看板)

その後附屬地の發展に伴ひ城内居住の邦人達は漸次附屬地内に移轉し大正八、九年におよび激減し衰退氣分を漂はし顯著なる事業もなく一言にしていへば環境に支配され唯默々と地味な足どりをたどつて來たが、かくする裡昭和六年九月十八日の奉天郊外柳條湖に投げられた爆彈は滿洲事變の發火點となり、滿洲國が成立され客觀的諸情勢は總てに於て大變革を齎らし品川會長が新任してより居留民會は愈よ後期大活動期に入り隆々たる發展過程を辿つた昭和十年五月清水豐太郎氏が會長就任當時は商埠地居住邦人の激増に伴ひ就學兒童も目覺ましく増加し昭和五年末調べの僅か二十四名が昭和十年には二千三十二名といふ驚異的數字をみせるに至り人口増加に伴ふ傳染病患者の處置といひ教育衛生の考慮其他滿洲事變に名譽の戰死を遂げた勇士の眠れる南嶺、寛城子の古戰場に記念碑を建立する基金募集に活躍する等其業務は益々多忙を極めるに至つたが治外法權は撤廢される事となりかくて一部治外法權撤廢效力發生の七月一日、全滿的に範をたるべき新京居留民會の新京特別市公署に對する課税衛生事務引繼は新京總領事館にて中野總領事代理立會のもとに嚴肅にしかも圓滿裡に完了即ち當日定刻午後一時民會側は清水同會長、田中副會長、松田評議員、四枝理事、江口書記等列席新京特別市公署側からは韓市長、植田總務處長、宇山財務處長、平野總務科長列席、先づ清水會長と韓市長との間に署名捺印が行はれ立會人として中野總領事代理同じく署名捺印し次いで同方式により韓市長と金韓鮮人民會長との間に調印を終り各代表者の簡單なる挨拶が交はされ當日引繼がれたものは

一、人事關係書類、一、文書總目錄、一、備品目錄、一、戶數割賦課資料、一、衛生雜種割賦課資料、一、自轉車鑑札、一、民會議員名簿

でその一部を滿洲國に移讓し現在に至つたものである、因みに歷代會長就任年月と姓名は次の如くである

年月日		氏名
明治四一、六、一〇	議長	遠藤藤次郎
同 四二、二、一六	同	佐々木唯一
同 四三、四、一三	同	高部翁助
同 四三、六、一九	會長	高部翁助
同 四四、五、一〇	同	前田豐三郎
同 四五、六、一六	同	八代篤斌
同 四五、一、一	同	箱田琢磨
大正一一、六、一四	同	彼末德雄
同 一五、四、二	同	小泉士之丞
昭和 五、一、一	同	田中善平
同 九、五、一九	同	品川主計
同 一〇、五、一	同	清水豐太郎
同 一一、七、一	同	田中善平

植田全權大使辭と廣田外相詞

本記念式に寄せられた全權大使の辭及び外務大臣の詞は次の如し

辭

帝國の治外法權撤廢を控へ本日貴民會解散せらるるに當り茲に貴民會が終始我が同胞發展のため寄與したる功績を多とし併せて各位が今後益々日滿一德一心の精神を體し盟邦滿洲國の健全なる發達に貢獻せられんことを望む

昭和十二年九月二十五日
滿洲國駐劄特命全權大使 植田謙吉

詞

新京居留民會の解散に當り其の民會が多年國策を扶翼し同胞の發展に貢獻したる功績を多とす

昭和十二年九月二十五日
外務大臣 廣田弘毅

感慨無量 柴崎總領事代理語る

解散式終了後柴崎總領事代理は左の如く語る

過去三十年間居留民會が我が大和民族の發展向上に努力したその功績は實に偉大なものです此處にその長い歷史を閉ぢましたことを思へば全く感慨無量の極みです、治廢後居留民會の事業が滿洲國に引きつがれた後は在留邦人が一體となつて更に一層滿洲國の發展のため努力すべき準備と確信が必要と存じます

最後の民會長 田中氏語る

最後の居留民會長として民會事業に盡力有終の美を結んだ田中民會長は式典終了後感慨深げに左の如く語る

新京居留民會が常に全滿にさきがけ國策的立場から在京日本人の發展向上に努力して來たことはその歷史が物語つてゐる如く明らかな事實であります、本日茲に全滿に魁けて率先實質的解散記念式を目出度く終了致しましたことは誠に喜ばしい次第であります、唯この上は滿洲國の健全なる發展を冀ふのみであります

大いなる足跡 目覺しい事變後の飛躍

新京居留民會の草創は未だ滿鐵附屬地の土地買收終り漸く之が建設を始め様とした明治四十一年六月で領事館令に基いて設立されたものである、當時既に長春縣城内の日本人はその戶數百八十餘戶、人口に於て六百數十名に達してゐた、民會監督の任に當つた最初の領事は松村貞雄氏で第一回指命常議員は十二名の地方有力者がなり、議長には遠藤藤次郎、副議長佐々木唯一、理事柏原孝久の三氏が互選され書記長には針生安治郎氏が任命され人的組織も整備され盛大なる發會式の後華々しきスタートを爲し最初着手した公共事業は民會規定に則る課金徵收或ひは教育、衛生等である

この意義深き記念式は午後三時柴崎總領事代理、山本大使館一等書記官、領警青木主任、關屋特別市副市長、鯉沼財務處長、田中民會長以下民會各議員等卅五名式場入場、江口民會理事開會を宣し田中民會長の感激深き挨拶に次ぎ柴崎總領事代理の外務大臣の詞、山本一等書記官の植田駐滿全權大使の辭あり、終つて一同は嚴肅な雰圍氣の裡に冷酒を酌み交はし四時半萬歲を三唱そぼ降る秋雨に包まれた二階會議室に大日本帝國の大陸發展史上に特筆大書された新京居留民會史の最後の一頁は靜かに閉ざされた

禁衛隊八勇士の隊葬 故奧野水兵慰靈祭

東邊道討匪行に於て名譽の戰死を遂げた將校以下八名の隊葬は二十五日午後一時半から禁衛隊營庭に於ていとも盛大に執行され于治安部大臣、平林最高顧問其他滿洲國要人を始め關東軍、駐滿海軍部、國防婦人國防婦女會等の代表者參加盛儀を極めた【寫眞右】

上海事件で名譽の戰死を遂げた故海軍二等水兵奧野貞四郎氏の慰靈祭は二十五日午後四時から太子堂で執行された、岐阜縣人會、海友會員、一般市民多數の參列者あり盛大であつた【寫眞左】

七人の熱誠廿圓

きのふ本社通じ献金

新京特別市西七馬路滿洲圖書株式會社の鑄造科員稻原新一、岡田一男、石原正虎、杉山俊郎の四氏各々一圓、汪峯泉、趙興斗の二名が五十錢づゝ醵金五圓に纏め左の一文を添へ二十五日本社へ献金取扱方を依頼して來た

支那事變の勃發以來我陸海軍の勇猛果敢神速なる行動は暴戾飽くなき支那軍を膺懲して今や餘すところ無く忠勇なる皇軍將士に對し我等六名の寸志を送り謹んで深甚なる感謝の意を表す

また新京特別市西四馬路一二七の有馬純德氏は二十五日來社、ほんの些少ですが皇軍に對する慰問金にお加へ下さいと金十五圓の献金手續きを依頼されたので何れも直ちに關東軍へ納付の手續きをとつた

早法戰引分け

【東京國通】早法第一回戰は四對四で引分け

△バッテリー
早大 若原、近藤
法政 森近、村上

△スコア

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
早大	1	2	0	0	0	1	0	0	0	4
法政	2	0	0	1	0	1	0	0	0	4

新日ハンデトーナメント 決勝戰延期

本社主催新日ハンデキャップトーナメント決勝戰は降雨の爲め天候の恢復するまで延期した

新里氏講演會

あす白菊會館開催

在米生活幾十年、刻苦奮鬪にかち得た事業と地位と財寶を一瞬にして失ひ、しかも愛する妻子には死別して失明、聾者となり、悲慘のどん底生活から漸くキリストの救ひの光りを見出し、救世主として立ち上つた昭和の義人、新里貫一氏の講演會は市民待望裡にいよいよ廿七日午後七時半から白菊町白菊會館で開催されるが演題は「闇に閃く蹟なき聲」で同氏が嘗て體驗した所謂〃苦しみは如何にして喜びに變つたか〃の講演内容は同氏の持つ獨得の熱辯と相俟つて多大の感銘を與へるものと期待される、なほ同氏は新京の日程終了後吉林、ハルビン四平街、奉天、遼陽、鞍山、營口、大連と巡講する筈【寫眞は新里貫一氏】

グライダー大會 三日開催に變更

滿洲飛行協會主催第一回全滿グライダー大會は二十七日新京南飛行場で開催することに變更したが、その後天候恢復の見込みなきため中止し改めて十月三日開催することに決定した

グライダー大會協議會

滿洲飛行協會では二十五日正午から新京中銀倶樂部に大迫會長以下皆川、關屋氏ら役員河久津主事、大連支部石橋、ハルビン支部小野崎、奉天支部西尾諸氏其他各主任者等二十餘名集合全滿グライダー大會に就いて種々協議を行つた

フレンソーダ

新京署高等席次から一躍高等主任の椅子を占めた警部反田昭氏は異數の抜擢としてもつぱら署内で評判▲お目出度と祝辭を述べると寡言な彼は〃ニッコリ〃として答へる、ニッコリ笑ふところに濃厚な人なつこい豁かな性格を表現する一面丹下左膳ではないが〃タンダ〃が笑へば〃でよく切れる鮮やかな手際を見せる男でもある▲その〃ニッコリ〃と〃切る腕〃が買はれて抜擢の椅子を占めたわけでもあり、この二つの特長は彼にはまた融合した一つのものでもある▲『君反田警部の腕は切れる筈だよ劍道二段だもの』と誰れやら筆者の肩をたゝいて言つた、聞けば旭八等の豪毅を語る輝やかしい經歷も持つ、それに年齒尙三十四歲活躍の天地は正に今後にある▲椅子に不足のあらう筈もない國都高等警察の重位、ニッコリ笑つて大上段にふりかぶつた手練の尖劍に期待するところのもの大きい

先聖皇御遺勳を偲ぶ 日滿親善展覽會

卅日から寶山百貨店で開催

日滿兩國は共同關係赤化をせん除東洋平和の確立に邁進し着々飛躍滿洲の實をあげつゝあるが日滿今日の進展は一重に先聖皇の御稜威の大偉業で國家非常の秋大帝の御遺勳を偲び奉ると共に日本精神を作興し一般民衆の覺悟と盡忠の念を培ひ其の親善、提携を充分理解認識せしむるため帝國在鄕軍人新京聯合分會では關東軍新聞班、駐滿海軍部、協和會首都本部の後援を得て明治天皇大元帥御正裝一揃外左記目錄の御遺品の御貸下げを賜り來る三十日より十月十日まで新築の寶山百貨店に於て日滿親善大展覽會を開催することゝなり、目下準備中であるが空前のこの催しを機に多數の拜觀を希望してゐる

一、開場時刻 午前九時三十分より午後七時まで
一、參觀料 不要
一、催物計畫 パノラマ式、飛躍滿洲の礎、日滿兩皇室の御親善、伸び行く國都、滿洲建國の基礎明治三十八年三月大山元帥奉天入城
一、陳列 明治天皇大元帥御正裝一揃外左記目錄の通り御貸下品
一、明治天皇大元帥御正裝 一揃
内譯
御帽子 一
御前立 一
御肩章 一組
御上衣 一
御ズボン 一
元侍從日野西子爵家御貸下
一、明治天皇御遺物小烏丸型日本刀 一口
一、明治天皇御ズボン釣 一個
一、大正天皇御軍衣袴 一揃
一、明治天皇大演習御統監御寫眞 一葉
一、乃木將軍油繪寫眞 一葉
元侍從武官奧村拓治閣下御貸下
一、元帥刀(親授)(柄鞘) 一口
一、元帥徽章 一個
一、功一級金鵄勳章 一個
一、勳一等旭日大綬章 一個
一、元帥筆大嘗祭の御歌 一副
山縣公爵家御貸下
一、大勳位菊花頸飾章 一揃
一、各國より公爵に賜りし勳章 十個
(内譯)英、獨、佛、露、土、淸、オーストリヤ、カンボチヤ、シヤム、安南
一、多戰時服衣袴 一揃
一、昌圖紳商より公爵に贈りし頌德表 一個
大山公爵家御貸下
一、野津元帥閣下陸軍御正裝衣袴 一揃
一、同 肩章 一個
一、同 將官懸章 一個
一、同 飾帶 一個
一、同 刀帶 一個
一、同 大綬章帶 一個
一、同 開原より寄贈の天蓋 一個
一、同 頌德旗 大三本
一、同 頌德旗 小二本
一、同 寄贈名簿 二枚
一、同 昌圖、開原陣地圖 二卷
野津侯爵家御貸下
一、各種海軍ポスター 七枚
一、東亞地圖 二枚
海軍省軍事普及部御貸下
一、滿洲國皇帝陛下より閣下に御下賜の双眼鏡 壹個
一、關東軍司令官々邸に於ける滿洲國皇帝陛下秩父宮殿下御同列記念寫眞 一葉
麥刈隆閣下御貸下
一、寫眞 聖上陛下 滿洲國皇帝陛下 御同列觀兵式行幸御寫眞 四葉
一、建國記念式當日の文武百官の記念寫眞 一葉
一、滿洲國皇帝陛下御書寫眞 一葉
一、大連に於ける閣下觀迎會場の寫眞 一葉
前侍從武官長本庄繁閣下御貸下
外滿洲國高官より御貸下の品數十點並に東鄕元帥筆書等目下在新京日本總領事館に於て奉安中

天氣

けふの天氣 北西の風曇り小雨後晴
日の出 前六時二九分
日の入 後六時三十分
月の出 後十時二五分
月の入 前一一時〇分
きのふの氣溫 最高一九度四 最低一二度七

義人長七郎（五十三）

（禁上演映畫化）中川雨之助　竹枝一郎畫

兩國の易者（八）

「若さまには、まだ何事も、御存知ないとみえまするな……申すも恐れ多いことでございますが、五年以前、御父大納言さま、高崎の城中にて、悲しき御最期を、お遂げあそばす前、當上様から、高崎の城主安藤重長殿にくだされたお墨付が、過る暴風雨の夜、何者とも知れず城内に忍び入り、寶藏から盗み去りましたげにござります」

「大納言さまに、御最期を、餘儀なくさせたと噂のある、あのお墨付を……」

と、琢兵衛も、事の意外に驚きました。

主従は、まつたく何も知らなかつたのです。只驚きの、顔を見合すばかりです。

「まだ、それればかりではございません、いまから五日前、雜司ケ谷の原におきまして、お鷹狩のみぎり、恐れ多くも鐵砲にて上様を、狙ひ撃いたした者がござります」

「エッ、伯父上様を……シテ曲者は、召捕られたか」

「何奴の、仕業でござりましたか」

主従は、二度びつくりでした。

「曲者は、其場から巧みに逃げ失せ、何者とも知れませぬ……が、若様のお身の上の一大事と申すは茲のことでござります……すなはち、お墨付の盗賊といひ、將軍狙撃の曲者といひ、或ひは、若様一味の者の所爲でないかと、幕府の閣老方は、勿體なくも若様に對し怪しからぬ疑ひを抱き居るのでござります」

五郎右衛門は、さも口惜しさうに、髯をふるはすのです。

「何故に、予が、閣老どもから、左樣に疑はれるのであらう……？」

「されば、大納言様の御最期を無念に思召し、上様をお恨み遊ばし、若様に御謀叛の企てどもあるかの如く邪推いたし……」

「なに。……予に、謀叛の企てとな……」

狐疑である、濡衣である、長七郎は、思はず無念の拳を握りました。

「それが爲、若様の周圍には、幕府の隱密の目の光り、御動靜を、細大漏らさず探り出さうと致し居ります。決して御油斷はなりませぬぞ」

「爺よ、その言葉に、よも僞りは無からうのう」

あまりに思ひがけないことなので、長七郎は、容易に信じられません。

「なにしに僞りを申しませうや。現に今日も、若様が兩國にて、目明し傳吉とやらの非道をお懲し遊ばした時にも、群衆に交つて、幕府の隱密らしい士一人、若様の御様子を窺ひ居りました、やつがれ睹と見届けました」

「ハテ、油斷のならぬ……」

琢兵衛も、今更のやうに驚嘆いたしました。

長七郎は、しばらく腕を組んで考へ沈む樣子でしたが、やがて。

「是非もない……何事も、予の不德からぢや……」

といつて、悩ましげに、嘆息するのでした。

しかし、口では、さう言つてゐるものゝ、青春血氣の長七郎、肚の中では、不快でたまりません。その胸中を推し量つては、琢兵衛も、なんとお慰めする言葉もありません。

三人の間に、しばらく沈默が流れました。

冬の夜は次第に更けて行くのです。

燭台の灯が風に搖いで、戸外に遠く、夜廻りの音が聞えて參ります。